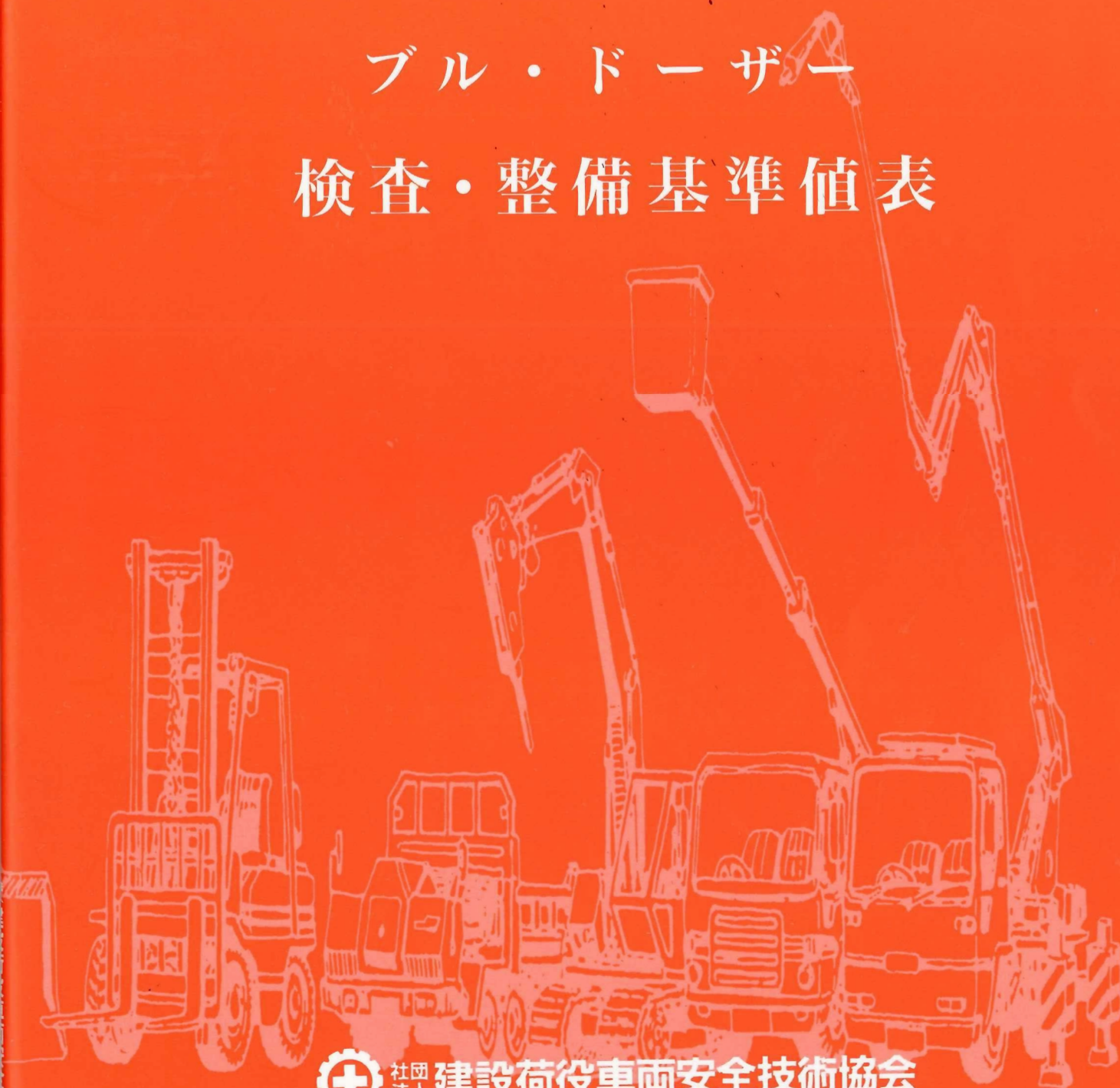


ブル・ドーザー 検査・整備基準値表



社団法人

建設荷役車両安全技術協会



まえがき

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持する為には、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

その為には、チェック結果の良否の判断の基、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態にあることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、今般、当協会は特定自主検査対象機種について「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供することと致しました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の全製品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの御賛同と強力な御協力を得て、ここにその代表機種である「ブル・ドーザ 検査・整備基準値表」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨に御賛同くださり、編集委員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心より御礼申し上げます。

なお、今後は定期的に改訂版を発刊する計画であり、今回の版の基準値表リストからもれたモデル、及び収録以後の新規モデルについては、次版にて収録する予定としています。

平成10年 9月 1日

社団法人 建設荷役車両安全技術協会

会 長 水 町 長 生

ブル・ドーザ 検査・整備基準値表の作成にご尽力くださった方々は次のとおりです。

委員長	阿 部 裕	新キャタピラー三菱株式会社
委員	満 留 典 理	コマツ
〃	神 田 俊 夫	日立建機株式会社
原稿提供	堀 田 貢	株式会社クボタ クボタ内燃機サービス株式会社
〃	内 藤 双 照	古河機械金属株式会社
事務局	下 田 昇	社団法人 建設荷役車両安全技術協会
〃	岡 村 重 芳	〃
〃	永 井 利 夫	〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカーごとに一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ね ミニ、小型、中型の3サイズに分類してあり、要すれば各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白のままに残してあります。
- (4) 同一製品がOEM供給元とOEM供給先の双方で並行販売されている場合には、供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成9年6月末現在に日本国内において製造又は販売されているモデルに限定して、収録してあります。

この時点で製造又は販売を打ち切られているモデル、又はこの時点以降に新規に製造又は販売されたモデルは含んでおりません。

収録からもれてしまったモデル又は収録以降の新規モデルについては、今後定期的に行う改訂版の発行の際に収録し掲載する予定です。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で主要部分を占める、ミニ建機、小型建機、中型建機までを収録してあります。

大型建機は、日本国内市場では台数比率が低く又メーカー系列の検査・整備業者がアフタケアしている場合が多い為に公開された「検査・整備基準値表」の必要性が低いとの観点から、収録してありません。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1) 「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針（平成5年12月付け公示16号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

(2) 「新車基準値」の表記

「新車のみ適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に＊を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

ブル・ドーザ 検査・整備基準値表

目 次

(株)クボタ	KD40～	2
コマツ	D20A-7～	8
	D31A-20～	18
	D50P-18～	28
	D57S-1B	34
	D60P-12	38
	D65E-12～	42
新キャタピラー三菱(株)(SCM)	BD2J～	48
日立建機(株)	DX40～	64
古河機械金属(株)	FD40～	72

クボタ

適用範囲		モデル名		KD40	KD40-2	KD40P	KD40P-2	KD40PL
		仕様		パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト
		適用号機		1078～	1898～	1001～	1898～	1002～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ・ハイアイドルリング ・ローアイドルリング ・トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)
		弁すき間 ・吸気弁 スキ間 ・排気弁 スキ間 〔測定条件〕	mm mm 〔 〕 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162	185 18142
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm 〔Kg N〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕
動力伝達装置	クラッチ又は インチングペダル	ペダル取付け高さ ペダル遊びのストローク ペダル全ストローク	cm cm cm	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7
	走行クラッチ・ トランスミッ ション油圧	〔流体継ぎ手型〕 ミッション潤滑油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)					
		クラッチ油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)					
ステアリング装置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3
	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20
	ステアリング装置	ステアリングブースタ油圧又は ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)

KD40PL-2	KD45	KD45-2	KD45P	KD45P-2				
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト				
5422～	5005～	1042～	5010～	1042～				
検 査 基 準 値								
2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920				
3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)				
0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕				
30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)				
175 17162	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162				
8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕				
0.8～1.3 16.7	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13				
	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)				
	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196				
	(80)	(80)	(80)	(80)				
3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3				
11 20	11 20	11 20	11 20	11 20				
15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)				

クボタ

適用範囲		モデル名	KD40	KD40-2	KD40P	KD40P-2	KD40PL
		仕様	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト
		適用号機	1078～	1898～	1001～	1898～	1002～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
走行装置	クローラベルト	〔ゴムベルト〕 ・張り(たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm			10～15 ①	10～15 ①
		〔鉄シュー〕 ・張り(たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②
		・リンクピッチの伸び (測定方法・条件) 図番号	mm	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③
		・履帯取り付けボルト 締付けトルク (測定方法・条件)	kgm N・m	17±2 167±20	17±2 167±20	18～21 177～206	18～21 177～206
作業装置	シリンダ 自然伸縮	〔ブルドーザ〕 ・ブレードリフトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④
		・ブレードチルトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm				
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	作業機速度	〔ブルドーザ〕 ・ブレード上げ(下げ) (作業装置姿勢) 図番号	sec	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)

KD40PL-2	KD45	KD45-2	KD45P	KD45P-2				
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト				
5422～	5005～	1042～	5010～	1042～				
検 査 基 準 値								
10～15 ①			10～15 ①	10～15 ①				
20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②				
135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③				
18～21 177～206	17±2 167±20	17±2 167±20	18～21 177～206	18～21 177～206				
20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④				
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)				
1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤				
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)				
160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)				

クボタ

モデル名

KD40

KD40-2

KD40P

KD40P-2

KD40PL

①

■ ゴムクローラ（オプション）の張りの点検・調整

ゴムクローラは、作業条件や土質により、摩耗状態が異なりますので、随時摩耗状態および張り具合を点検してください。

とくに、新品装着時は、使用後初回 10 時間目で再調整し、以後 30 時間ごとに点検・調整してください。

● 点 検

⚠ 警 告

点検の際は二人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。

とくに測定中は絶対に動かさないでください。

履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

重 要

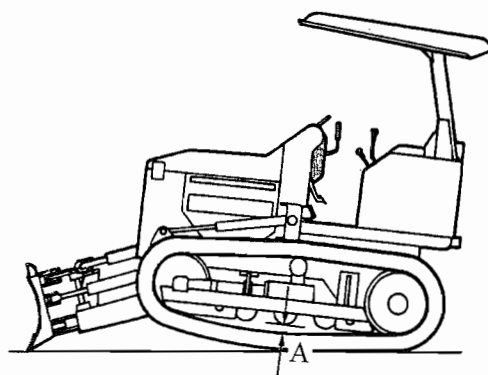
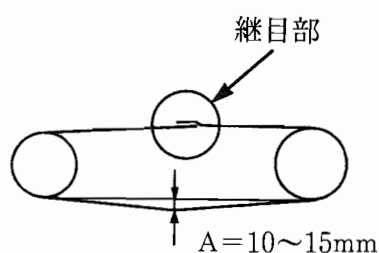
- ・摩耗などにより、継目部の確認ができないときは、調整後、1/4 回転させてもう一度点検してください。
- ・ゴムクローラがゆるんだ状態で作業すると脱輪や芯金部の早期摩耗の原因になります。

1. ゴムクローラ継目部（△印または∞印）を車軸間の上部中央にくるようにします。

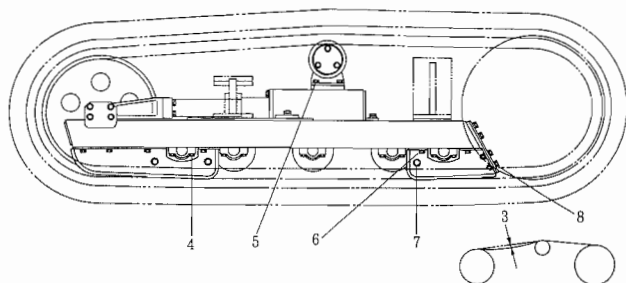
継目位置をまちがうと適正張り具合よりたるみが多くなり、再調整が必要となります。

2. ブレードで車体を上げ、中央のトラックローラの外周端とクローラのローラ転動面とのスキマ（A）が 10～15mm あれば標準です。

25mm 以上になっていたら、張りの調整が必要です。



② アンダキャリッジ



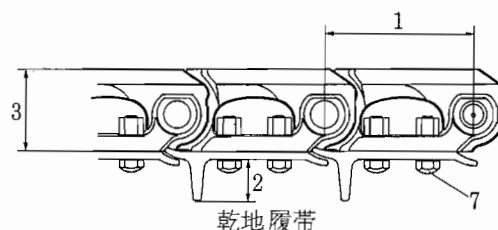
No.	項 目	基準値	使用 限度	備 考
3	トラックのゆるみ量	20～ 30mm	—	※車両を平地で 7m 以上の距離を低速前進 走行させ、ブレーキをかけ ずに自然に停止した状態で 測する。

KD40PL-2	KD45	KD45-2	KD45P	KD45P-2				
----------	------	--------	-------	---------	--	--	--	--

③

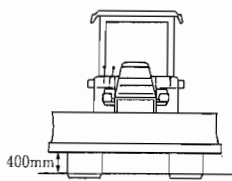
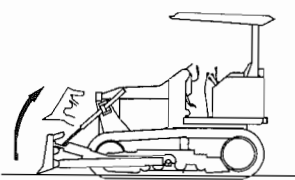
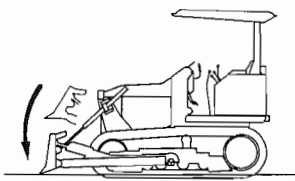
トラックリンク

No.	項 目	基 準 値	使用限度	備 考
1	リンクピッチ	135mm	137.5mm	



ハイドロリック仕様 (PAT)

④

項 目	測 定 方 法	新車基準値
ブレード自然降下量	 - 油温 40～60℃ - ブレードを地上より400mm上げる。 - コントロールレバーを「中立」位置にし、エンジン停止する。 5分後のリフトシリンダのロッドの伸び量。	20mm/5分
ブレード上昇時間	 - 油温 40～60℃ - エンジン最高回転 (2300～2400rpm) - コントロールレバーを「上昇」位置にしてブレードを地上から最高位置まで上げるのに要する時間。	1.4 秒
ブレード下降時間	 - 油温 40～60℃ - エンジン最高回転 (2300～2400rpm) - コントロールレバーを「下降」位置にしてブレードを最高位置から地上まで下げるのに要する時間。	1.3 秒

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D20A-7	D20P-7A	D20PL-7	D20PLL-7	D20A-7
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	62001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～4 294～392 (80～110) (2560)	3～4 294～392 (80～110) (2560)	3～4 294～392 (80～110) (2560)	3～4 294～392 (80～110) (2560)	3～4 294～392 (80～110) (2560)
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	35±1 3432±98 (69～72) (250)	35±1 3432±98 (69～72) (250)	35±1 3432±98 (69～72) (250)	35±1 3432±98 (69～72) (250)	35±1 3432±98 (69～72) (250)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm kg N	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]
	主クラッチ ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	18 1.0～3.3 17.6～18.6	18 1.0～3.3 17.6～18.6	18 1.0～3.3 17.6～18.6	18 1.0～3.3 17.6～18.6	18 1.0～3.3 17.6～18.6
動 力 伝 達 装 置	主クラッチ・トランスミッション	主クラッチ型	kg/cm ² kPa	18～21 1765～2059	18～21 1765～2059	18～21 1765～2059	18～21 1765～2059	18～21 1765～2059
		ダイレクト シフト型	kg/cm ² kPa					
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² kPa	10 981	10 981	10 981	10 981	10 981
			kg/cm ² kPa					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)
ス テ ア リ ン グ 装 置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4
	レバ ー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 20.0～27.4
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)	20～23 1961～2255 (40～60)	20～23 1961～2255 (40～60)	20～23 1961～2255 (40～60)	20～23 1961～2255 (40～60)	20～23 1961～2255 (40～60)

D20P-7								
2本レバーパワー アングルチルト								
75001～								
検 査 基 準 値								
2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)								
3～4 294～392 (80～110) (2560)								
0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]								
35±1 3432±98 (69～72) (250)								
220～230 21574～22555								
10～15 [10] [98]								
18 1.0～3.3 17.6～18.6								
18～21 1765～2059								
10 981								
(40～60) (2560)								
3.5±0.35 34.3±3.4								
— 20.0～27.4								
20～23 1961～2255 (40～60)								

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D20A-7	D20P-7A	D20PL-7	D20PLL-7	D20A-7
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	62001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕
		シ ユ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
作業装置	シリンダ	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
	自然伸縮		mm					
			mm					
	(作動油温)		(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	作業機速度	ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
			sec					
			sec					
	(作動油温)		(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

D20P-7								
2本レバーパワー アングルリチルト								
75001～								
検 査 基 準 値								
15～20 〔 ① 〕								
20～30 〔 ② 〕								
138.25 (135.25) 〔 ③ 〕								
〔 ③ 〕								
— 〔 — 〕								
100 〔 ④ 〕 50 〔 ④ 〕 〔 — 〕								
(40～60)								
1.8 〔 ⑤ 〕 〔 — 〕								
(40～60)								
155～162 15200～15887 (40～60)								

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D21A-7	D21P-7A	D21PL-7	D21A-7	D21P-7A
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	75001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	rpm	2560±50	2560±50	2560±50	2560±50	2560±50
		ハイアイドルリング	rpm	825±25	825±25	825±25	825±25	825±25
		ローアイドルリング	rpm	—	—	—	—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(69～72)	(69～72)	(69～72)	(69～72)	(69～72)
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
		エンジン油圧	kg/cm ² kPa	3～4 294～392	3～4 294～392	3～4 294～392	3～4 294～392	3～4 294～392
		(油温)	(℃)	(80～110)	(80～110)	(80～110)	(80～110)	(80～110)
		(回転速度)	(rpm)	(2560)	(2560)	(2560)	(2560)	(2560)
		弁すき間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
		吸気弁 スキ間	mm	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05	0.2±0.05
動 力 伝 達 装 置	燃 料 装 置	排気弁 スキ間 [測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]
		圧縮圧力	kg/cm ² kPa	35±1 3432±98	35±1 3432±98	35±1 3432±98	35±1 3432±98	35±1 3432±98
		(冷却水温)	(℃)	(69～72)	(69～72)	(69～72)	(69～72)	(69～72)
		(回転速度)	(rpm)	(250)	(250)	(250)	(250)	(250)
	冷 却 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555	220～230 21574～22555
		ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm kg N	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]
	主クラッチ・トランスミッション	主クラッチ型	cm cm cm	10.3～11.3	10.3～11.3	10.3～11.3	10.3～11.3	10.3～11.3
		ダイレクト シフト型	kg/cm ² kPa					
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² kPa	3 294	3 294	3 294	3 294	3 294
		(ミッション油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
		(エンジン回転速度)	(rpm)	(2560)	(2560)	(2560)	(2560)	(2560)
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ ー	プロペラシャフト	kgm N・m	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4	3.5±0.35 34.3±3.4
		ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 20.0～27.4	— 20.0～27.4
	ステアリングクラッチ油圧 (油 温)		kg/cm ² kPa (℃)	26.5～28.5 2599～2795 (40～60)	26.5～28.5 2599～2795 (40～60)	26.5～28.5 2599～2795 (40～60)	26.5～28.5 2599～2795 (40～60)	26.5～28.5 2599～2795 (40～60)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

[illegible]

適用範囲		モデル名		D21A-7	D21P-7A	D21PL-7	D21A-7	D21P-7A
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	75001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕
		鉄 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕
		シ ユ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
			sec					
			sec					
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)	155～162 15200～15887 (40～60)

[illegible]

モデル名

D20A-7

D20P-7A

D20PL-7

D20PLL-7

D20A-7

①

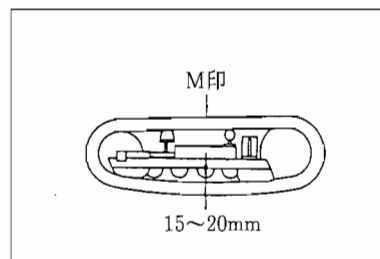
■ 点 検

▲ 警 告

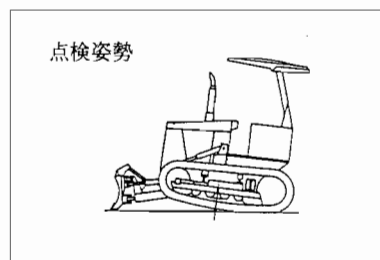
2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面とトラックシューのローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。

25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。



点検姿勢

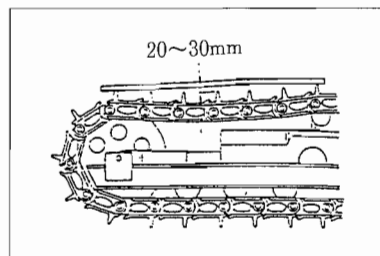


②

■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

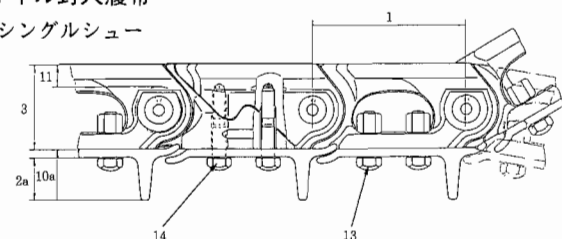
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



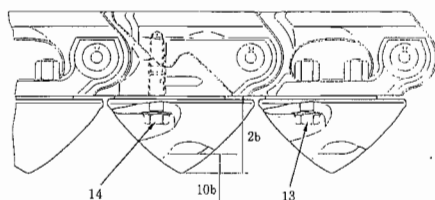
③

オイル封入履帯

シングルシュー



湿地シュー

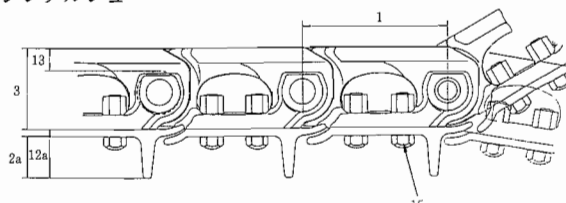


No.	項 目	判 定 基 準	
		基本寸法	許容限度
1	リンクピッチ	135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm {7 ± 1 kgm}. 増締角: 90 ± 10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm {7 ± 1 kgm}. 増締角: 180 ± 10°	

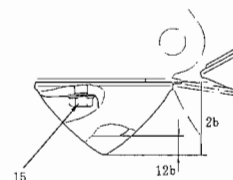
③

乾式履帯

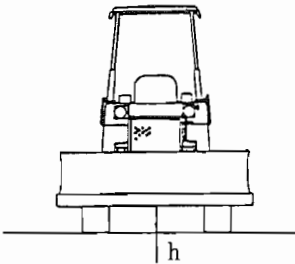
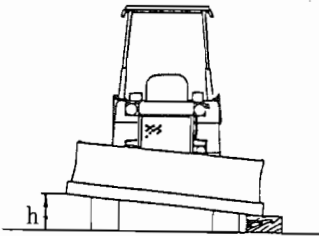
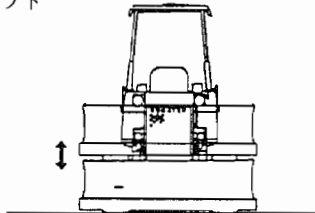
シングルシュー



湿地シュー



No.	項 目	判 定 基 準	
		基本寸法	許容限度
1	リンクピッチ	135.25	—
15	シューボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm {7 ± 1 kgm}. 増締角: 90 ± 10°	

D20P-7		D21A-7		D21P-7A		D21PL-7		D21A-7		D21P-7A					
項 目	測 定 条 件	単 位	基 準 値 (新 車)		故 障 判 定 基 準 値										
			D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7									
④ ブ レ ー ド		mm	100		100										
	★ブレード地上から 300mm														
ブレードチルト (チルト時本体降下量)			50		50										
	★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっぱいにする。 ・上記の姿勢からブレードの降下量 h を測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。														
⑤ ブ レ ー ド (PAT 車) ・接 地 ↑ 上 昇 順	リフト	上 げ	1.8		1.8										
		秒													

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D31A-20	D31P-20	D31P-20A	D31PG-20A	D31PL-20
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト
		適用号機		42714~	47617~	47617~	47617~	47617~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2355~2485 750~850 — (75~90) (40~60)	2355~2485 750~850 — (75~90) (40~60)	2355~2485 750~850 — (75~90) (40~60)	2355~2485 750~850 — (75~90) (40~60)	2355~2485 750~850 — (75~90) (40~60)
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3.5~6.0 343~588 (90~110) (2350)	3.5~6.0 343~588 (90~110) (2350)	3.5~6.0 343~588 (90~110) (2350)	3.5~6.0 343~588 (90~110) (2350)	3.5~6.0 343~588 (90~110) (2350)
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	24.6 2412 (75~90) (320~360)	24.6 2412 (75~90) (320~360)	24.6 2412 (75~90) (320~360)	24.6 2412 (75~90) (320~360)	24.6 2412 (75~90) (320~360)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	175 17162	175 17162	175 17162	175 17162	175 17162
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm kg N	— []	— []	— []	— []	— []
	インチャング ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	— — 10.3~11.3	— — 10.3~11.3	— — 10.3~11.3	— — 10.3~11.3	— — 10.3~11.3
	動力伝達装置 トランスミッション		kg/cm ² kPa					
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² kPa	3 294	3 294	3 294	3 294	3 294
		クラッチ油圧	kg/cm ² kPa	21.5~24.5 2108~2403	21.5~24.5 2108~2403	21.5~24.5 2108~2403	21.5~24.5 2108~2403	21.5~24.5 2108~2403
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(40~60) (2560)	(40~60) (2560)	(40~60) (2560)	(40~60) (2560)	(40~60) (2560)
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 3.7~4.7	— 3.7~4.7	— 3.7~4.7	— 3.7~4.7	— 3.7~4.7
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)	21.5~24.5 2108~2403 (40~60)	21.5~24.5 2108~2403 (40~60)	21.5~24.5 2108~2403 (40~60)	21.5~24.5 2108~2403 (40~60)	21.5~24.5 2108~2403 (40~60)

D31PLL-20	D37P-5A	D31PG-5A	D31S-20	D31Q-20				
ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ドーザ ショベル	ドーザショベル, 湿地シュー				
47653～	3661～	3661～	41184～	41184～				
検 査 基 準 値								
2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2510～2640 750～850 — (75～90) (40～60)	2510～2640 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)				
3.5～6.0 343～588 (90～110) (2350)	3.5～6.0 343～588 (90～110) (2350)	3.5～6.0 343～588 (90～110) (2350)	3.5～6.0 343～588 (90～110) (2350)	3.5～6.0 343～588 (90～110) (2350)				
0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]				
24.6 2412 (75～90) (320～360)	24.6 2412 (75～90) (320～360)	24.6 2412 (75～90) (320～360)	24.6 2412 (75～90) (320～360)	24.6 2412 (75～90) (320～360)				
175 17162	175 17162	175 17162	175 17162	175 17162				
— 〔 — 〕	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕				
— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3				
3 294	3 294	3 294	3 294	3 294				
21.5～24.5 2108～2403	21.5～24.5 2108～2403	21.5～24.5 2108～2403	21.5～24.5 2108～2403	21.5～24.5 2108～2403				
(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)				
3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9	3.2±0.3 31.4±2.9				
— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7				
21.5～24.5 2108～2403 (40～60)	21.5～24.5 2108～2403 (40～60)	21.5～24.5 2108～2403 (40～60)	21.5～24.5 2108～2403 (40～60)	21.5～24.5 2108～2403 (40～60)				

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D31A-20	D31P-20	D31P-20A	D31PG-20A	D31PL-20	
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	
		適用号機		42714～	47617～	47617～	47617～	47617～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)		単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕
		鉄	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕
		シユ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕
		1	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕		床面勾配 1/5以上	－ 〔－〕	－ 〔－〕	－ 〔－〕	－ 〔－〕	－ 〔－〕
作業装置	シリンダ	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
			リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕
	自然伸縮	ドーザ ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕
			バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕
			(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕
			リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕
		ドーザ ショベル	リフトアーム上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕
			バケットチルトバック 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕	〔－〕
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)		kg/cm ² kPa (℃)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

D31PLL-20	D37P-5A	D31PG-5A	D31S-20	D31Q-20				
ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ドーザ ショベル	ドーザショベル, 湿地シュー				
47617～	3661～	3661～	41184～	41184～				
検 査 基 準 値								
20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕				
20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕				
157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕	157.25 (154.25) 〔③〕				
〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕				
— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕				
100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	— 〔—〕	— 〔—〕				
100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	— 〔—〕	— 〔—〕				
〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕				
〔—〕	〔—〕	〔—〕	100 〔⑤〕	100 〔⑤〕				
〔—〕	〔—〕	〔—〕	10 〔⑤〕	10 〔⑤〕				
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)				
2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	— 〔—〕	— 〔—〕				
〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕				
〔—〕	〔—〕	〔—〕	5.9 〔⑦〕	5.9 〔⑦〕				
〔—〕	〔—〕	〔—〕	2.1 〔⑦〕	2.1 〔⑦〕				
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)				
155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)	155 15200 (40～60)				

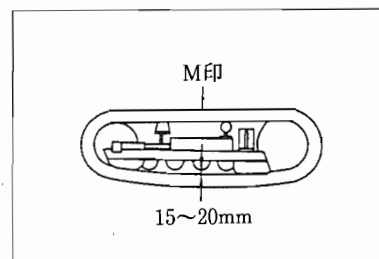
モデル名	D31A-20	D31P-20	D31P-20A	D31PG-20A	D31PL-20
------	---------	---------	----------	-----------	----------

①

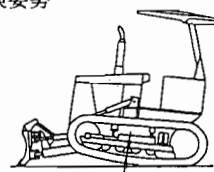
点検

警告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

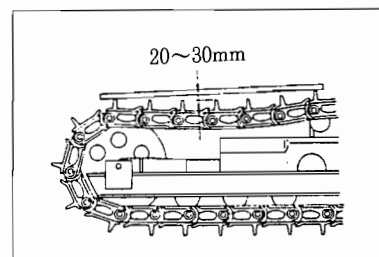


点検姿勢



ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面とトラックシューのローラ転動面とのスキマが20~30mmあれば標準です。

35mm 以上になっていたら、張りの調整が必要です。



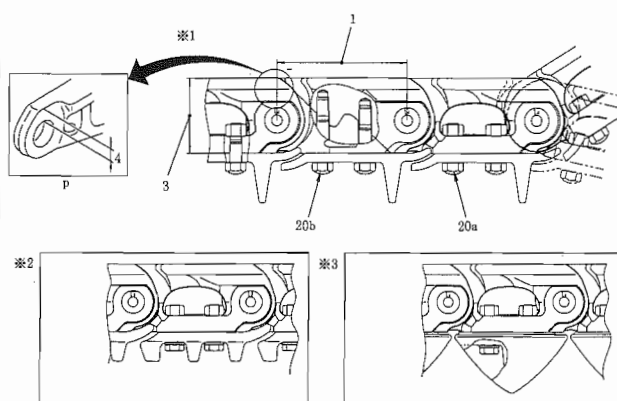
②

点検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を図のようにキャリアローラとアイドルの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で20~30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

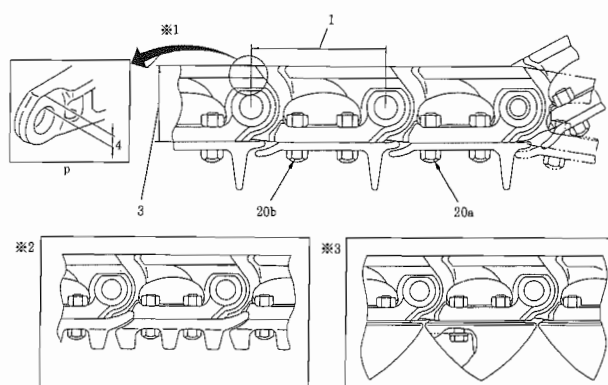
③ オイル封入履帯



★P部はプッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプルシュー（D31S、Q-20用）
※1 シングルシュー ※3 湿地シュー

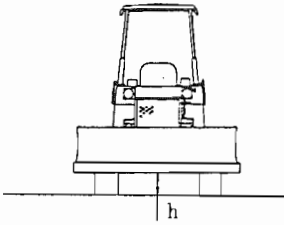
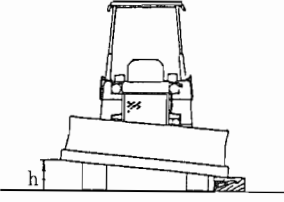
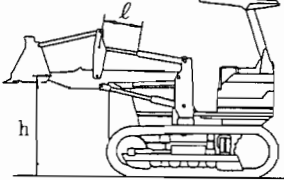
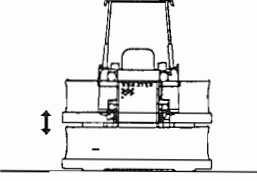
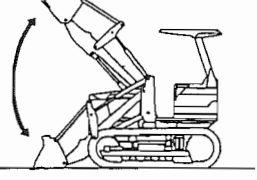
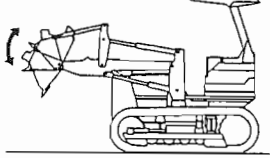
No.	項目	判定基準		
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度	
		154.25	157.25	
20	a. レギュラリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	
		147.1±19.6 {15±2}	60±10	
	b. マスタリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})
		147.1±19.6 {15±2}	180±10	255 {26}

乾式履帯



★P部はプッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプルシュー（D31S、Q-20用）
※1 シングルシュー ※3 湿地シュー

No.	項目	判定基準		
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度	
		154.25	157.25	
20	a. レギュラリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	
		147.1±19.6 {15±2}	60±10	
	b. マスタリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})
		—	—	—

D31PLL-20		D37P-5A	D31PG-5A	D31S-20	D31Q-20				
項 目		測 定 条 件				単位	新 車 基 準 値	故障判定 基 準 値	
④	ブ レ ード	 ★ブレード地上から 300mm				mm	100	—	
	ブレードチルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばいに上げる ・上記の姿勢からブレードの降下量 h を測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する					100	—	
	バケツ リフトアーム	 ★リフトアーム上面、バケツ底部水平 ・上記の姿勢からダンプシリンダの伸び量 l およびバケツヒンジピンの降下量 h を測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する				mm	100	—	
	バ ケ ッ ト						10	—	
⑥	ブ レ ード ・接 地 ↑ 上 昇 限	リフト				上 げ 秒	2.1	—	
⑦	バ ケ ッ ト ・接 地 ↑ 上 昇 限 ・ダンプ限 ↑ ・チルトバック限	リフト				上 げ 秒	5.9	—	
		ダンプ	 ★リフトアーム上面水平 ・水平・平坦地 ・エンジンフル ・作動油温：40～60℃				チルトバック		

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D41E-6	D41P-6			
		仕様	ストレート チルト	ストレート チルト			
		適用号機	B20001～	B20001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	rpm	2560±50	2560±50		
		ハイアイドルリング	rpm	825±25	825±25		
		ローアイドルリング	rpm	—	—		
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(75～90)	(75～90)		
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)		
	エンジン油圧	エンジン油圧	kg/cm ² kPa	2.8～5.3 274～520	2.8～5.3 274～520		
		(油温)	(℃)	(80)	(80)		
	弁すき間	(回転速度)	(rpm)	(2650)	(2650)		
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]		
	圧縮圧力	圧縮圧力	kg/cm ² kPa	24.6 2412	24.6 2412		
		(冷却水温)	(℃)	(75～90)	(75～90)		
燃料装置	燃料噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	175 17162	175 17162		
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm kg N []	— [—] [—]	— [—] [—]		
動力伝達装置	インテグ ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	—		
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—		
		ペダルの全ストローク	cm	10.5±1.5	10.5±1.5		
	トランスミ ッション		kg/cm ² kPa				
		ハイドロ シフト型	kg/cm ² kPa				
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² kPa	3 294	3 294		
		クラッチ油圧	kg/cm ² kPa	31 3040	31 3040		
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(ミッション油温)	(℃)	(70～80)	(70～80)		
		(エンジン回転速度)	(rpm)	(2650)	(2650)		
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	6.75±0.75 66.2±7.3	6.75±0.75 66.2±7.3		
ステアリング装置	レバ	レバー遊びのストローク	cm	—	—		
		レバーの全ストローク	cm	9.5±1.5	9.5±1.5		
ステアリング装置	ステアリングクラッチ油圧 (油温)	ステアリングクラッチ油圧	kg/cm ² kPa	36±3.5 3530±343	36±3.5 3530±343		
		(油温)	(℃)	(70～80)	(70～80)		

適用範囲		モデル名		D41E-6	D41P-6			
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト			
		適用号機		B20001～	B20001～			
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕		
		鉄	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔 ① 〕	20～30 〔 ① 〕		
		シ ュ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	174.7 (171.7) 〔 ② 〕	174.7 (171.7) 〔 ② 〕		
		1	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	〔 ② 〕	〔 ② 〕		
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔 ③ 〕	— 〔 ③ 〕			
作業装置	シリンダ	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔 ④ 〕	50 〔 ④ 〕		
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔 ④ 〕	100 〔 ④ 〕		
			リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔 — 〕	〔 — 〕		
	自然伸縮			mm				
				mm				
			(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)		
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.2±0.2 〔 ⑤ 〕	2.2±0.2 〔 ⑤ 〕			
		リッパ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔 — 〕	〔 — 〕			
			sec					
			sec					
油圧装置	(作動油温)		(℃)	(45～55)	(45～55)			
	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	210 20594 (45～55)	210 20594 (45～55)			

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

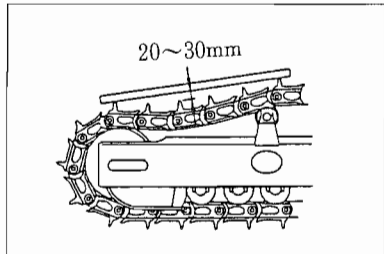
モ デ ル 名		D41E-6	D41P-6			
---------	--	--------	--------	--	--	--

①

■ 点 検

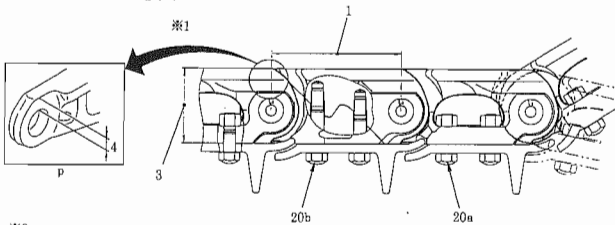
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドルの間に乗せたとき、枠とグロースとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。

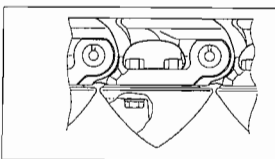
標準の張りでないときは、次のように調整して下さい。



②

オイル封入履帯





★P部はブッシュ圧入側リンクを示す。
※1 シングルシュー
※2 湿地シュー（D41P, PF-6用）

No.	項 目		判 定 基 準		
1	リンクピッチ		基本寸法	許 容 限 度	
			171.7	174.7	
20	シュー ボルト	a. レギュラリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	
		196.1±19.6 {20±2}	120±10		
	b. マスタリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})	
		196.1±19.6 {20±2}	180±10	343.2 {35}	

③

ブレーキ性能チェック

⚠ 警 告

以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼して下さい。

重 要

変速レバーは1速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行って下さい。

① インチングペダル⑦をいっばいに踏込んで下さい。

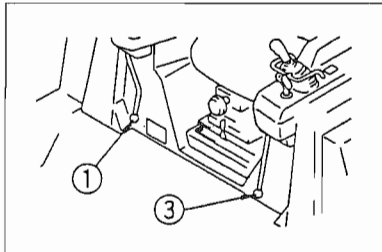
② エンジンを始動させて下さい。

③ 安全ロックレバー①をフリーにして、ブレード操作レバー②を操作してブレードを上げて下さい。

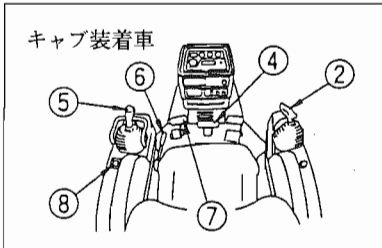
安全ロックレバーは、フリーの位置のままにしておいて下さい。

④ パーキングレバー③をフリーにして下さい。

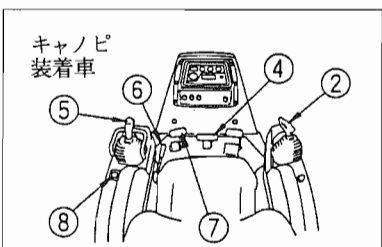
⑤ 燃料調整レバー⑥を操作して、ローアイドルリングとフル回転の中間位置まで引いて下さい。



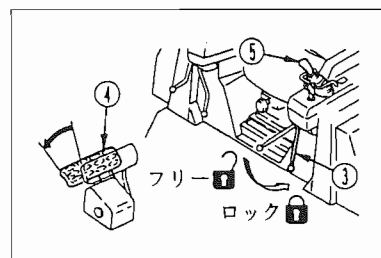
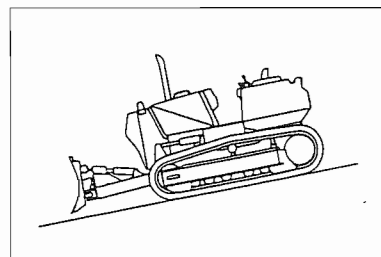
キャブ装着車



キャノピ装着車

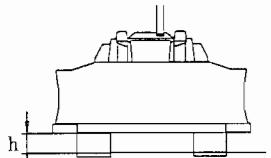
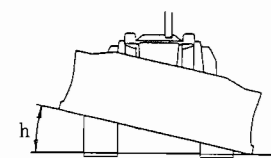
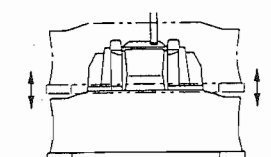


- ⑥ ブレーキペダル④を踏み、変速レバー⑤を2速に入れて、速度段表示窓⑧の表示が2速になっていることを確認してから、前進側に倒して下さい。
- ⑦ ブレーキペダル④を踏込んだままでインチングペダル⑦をゆっくりもどして下さい。
- ⑧ 上記操作でエンジンが停止して車両が動かなければブレーキは正常です。
- ⑨ 次にパーキングブレーキの点検をします。
車両を坂道で前下がりの位置になる様に移動して下さい。
- ⑩ 坂道でエンジンをかけたまま、ブレーキペダル④を踏み前後進レバー⑤を中立に戻し、車両を停止します。
- ⑪ パーキングレバー③を、ロック位置とします。
ブレーキペダル④を離して車両が動かなければ、パーキングブレーキは正常です。
- ⑫ 万一車両が動いた時は、パーキングレバー③をフリーの位置にしてブレーキペダル④を踏み込んで下さい。



重 要

パーキングレバー③をフリーの位置にしないと、ブレーキペダルが効きません。

項 目	測 定 条 件	単 位	新 車 基 準 値	故 障 判 定 基 準 値
④ リフト自然降下量	・作業機姿勢  ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレード中刃を300mm上昇させた位置からの15分間の降下量(h)	mm/ 15分	50 以下	100 以上
チルト自然降下量	・作業機姿勢  ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレードを最大チルトさせて接地した位置からの15分間の降下量(h)	mm/ 15分	100 以下	200 以上
⑤ ブレード上昇速度	・作業機姿勢  ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード無負荷 ・ブレード接地ー最大上げ間の所要時間	上 げ 秒	2.2±0.2	2.7

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D50P-18	D50P-18A	D53A-18	D53A-18A	D53P-18
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト
		適用号機		83001～	83001～	83195～	83195～	84007～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドル ローアイドル トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	1925±50 750±50 — (75～85) (45～55)	1925±50 750±50 — (75～85) (45～55)	2100±50 850±50 1600±30 (75～85) (45～55)	2100±50 850±50 1600±30 (75～85) (45～55)	2100±50 850±50 1600±30 (75～85) (45～55)
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～5 294～490 (80～110) (1925)	3～5 294～490 (80～110) (1925)	3～5 294～490 (75～85) (2100)	3～5 294～490 (75～85) (2100)	3～5 294～490 (75～85) (2100)
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.33 0.71 [常温]	0.33 0.71 [常温]	0.33 0.71 [常温]	0.33 0.71 [常温]	0.33 0.71 [常温]
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	34 3334 (75～85) (200～250)	34 3334 (75～85) (200～250)	36 3530 (75～85) (150～200)	36 3530 (75～85) (150～200)	36 3530 (75～85) (150～200)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	175 17162	175 17162	175 17162	175 17162	175 17162
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm kg N []	13 [6] [58.8]	13 [6] [58.8]	10 [6] [58.8]	10 [6] [58.8]	10 [6] [58.8]
動力伝達装置	主クラッチ・トランスミッション	クラッチレバー	cm cm	— 29±3	— 29±3			
		主クラッチ型	kg/cm ² kPa	30 2942	30 2942			
		ダイレクトシフト型	kg/cm ² kPa	30 2942	30 2942			
		流體継手型	kg/cm ² kPa			4～7 392～686	4～7 392～686	4～7 392～686
			kg/cm ² kPa			3 294	3 294	3 294
			kg/cm ² kPa			25 2452	25 2452	25 2452
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(70～80) (1925)	(70～80) (1925)	(70～80) (2100)	(70～80) (2100)	(70～80) (2100)
ステアリング装置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	6.7±0.7 65.7±6.9	6.7±0.7 65.7±6.9	6.7±0.7 65.7±6.9	6.7±0.7 65.7±6.9	6.7±0.7 65.7±6.9
	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 20±2	— 20±2	— 12±2	— 12±2	— 12±2
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)	20+4 1961+392 (70～80)	20+4 1961+392 (70～80)	21.5 2108 (70～80)	21.5 2108 (70～80)	21.5 2108 (70～80)

D53P-18A								
ストレート チルト								
84007～								
検 査 基 準 値								
2100±50 850±50 1600±30 (75～85) (45～55)								
3～5 294～490 (75～85) (2100)								
0.33 0.71 [常温]								
36 3530 (75～85) (150～200)								
175 17162								
10 [6] [58.8]								
4～7 392～686								
3 294								
25 2452								
(70～80) (2100)								
6.7±0.7 65.7±6.9								
— 12±2								
21.5 2108 (70～80)								

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D50P-18	D50P-18A	D53A-18	D53A-18A	D53P-18
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト
		適用号機		83001～	83001～	83195～	83195～	84007～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
		鉄 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕
		シ ユ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	178.25 (175.25) 〔②〕	178.25 (175.25) 〔②〕	178.25 (175.25) 〔②〕	178.25 (175.25) 〔②〕	178.25 (175.25) 〔②〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	〔②〕	〔②〕	〔②〕	〔②〕	〔②〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
作業装置	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
	自然伸縮		mm					
			mm					
	(作動油温)		(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)
	作業機速度	ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.9±0.3 〔④〕	1.9±0.3 〔④〕	2.0±0.3 〔④〕	1.9±0.3 〔④〕	2.0±0.3 〔④〕
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
			sec					
油圧装置	油圧回路 設定圧力							
		主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	140+10 13729+981 (45～55)	140+10 13729+981 (45～55)	140+10 13729+981 (45～55)	165+10 16181+981 (45～55)	140+10 13729+981 (45～55)

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

D53P-18A								
ストレート チルト								
84007～								
検 査 基 準 値								
— 〔 — 〕								
20～30 〔 ① 〕								
178.25 (175.25) 〔 ② 〕								
〔 ② 〕								
— 〔 — 〕								
100 〔 ③ 〕								
100 〔 ③ 〕								
〔 — 〕								
(45～55)								
1.9±0.3 〔 ④ 〕								
〔 — 〕								
(45～55)								
165+10 16181+981 (45～55)								

コ マ ツ

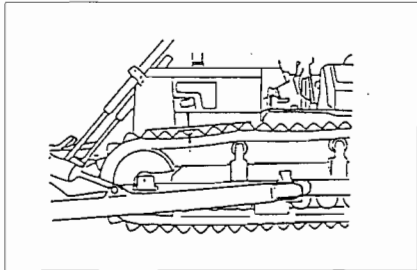
モ デ ル 名		D50P-18	D50P-18A	D53A-18	D53A-18A	D53P-18
---------	--	---------	----------	---------	----------	---------

①

■ 点 検

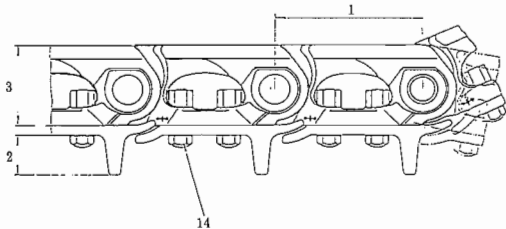
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整して下さい。

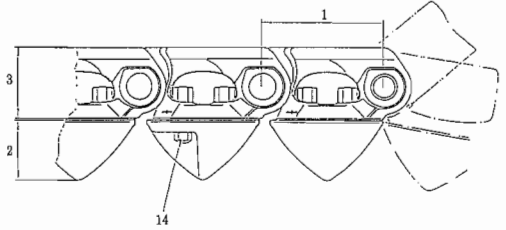


②

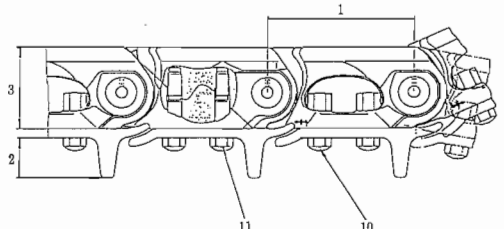
トラック（乾式履帯）



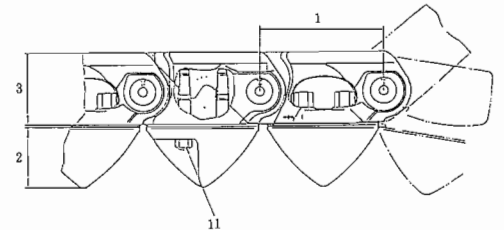
湿 地 用



トラック（オイル封入履帯）

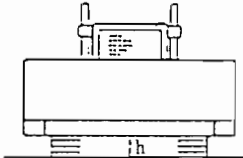
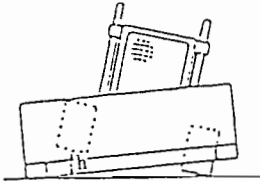
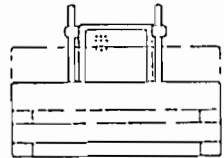


湿 地 用



	項 目	適用号機	基本寸法	修理可能限度	反 転 または 交 換
No. 1	リンクピッチ	80001～	175.25	178.25	増締め
	14 シューボルト 締付トルク	適用号機	基本寸法	増 締 角	
80001～		20 ± 2kgm	120° ± 10°		

	項 目	適用号機	基本寸法	修理可能限度	反 転 または 交 換
No. 1	リンクピッチ	80001～	175.25	178.25	増締め
	10 シューボルト 締付トルク	適用号機	初期締付トルク	増 締 角	
80001～		20 ± 2kgm	120° ± 10°		
11	マスタリンク 締付トルク	80001～	20 ± 2kgm	180° ± 10°	

項 目	測 定 条 件	単 位	新 車 基 準 値	故障判定 基 準 値
③ 自然降下量	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ブレード中刃地上300mmからの降下量(h)	mm/	100/15	
自然チルト降下量	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・チルトして車体を突張りエンジン停止直後から接地まで	左チルト	100/15	
		右チルト	100/15	
④ ブレード昇降速度	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・ブレード：無負荷 ・地上ー上昇限 ・エンジンフル	上 げ	PAT車： 1.9±0.3 P： 2.0±0.3	

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D57S-1B				
		仕様	ドーザ ショベル				
		適用号機	6501～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2050±50 800±50 1860～1950 (70～90) (45～55)			
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～5 294～490 (90～110) (2050)			
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.34 0.66 [常温]			
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	30 2942 (70～90) (320～360)			
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	175 17162			
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [kg N]	5～7 [6 58.8]			
動力伝達装置			cm cm cm				
	トランスミッション		kg/cm ² kPa				
		流体力継 手型	トルコン油圧	kg/cm ² kPa	5～7 490～686		
			ミッション潤滑油圧	kg/cm ² kPa	2～4 196～392		
			クラッチ油圧	kg/cm ² kPa	22～24 2157～2354		
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(70～80) (2050)			
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	6.7±0.7 65.7±6.9			
ステアリング装置	ペダル	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 11～13			
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)	19～23 1863～2255 (70～80)			

適用範囲		モデル名		D57S-1B				
		仕様		ドーザ ショベル				
		適用号機		6501～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 — 〕			
		鉄	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔 ① 〕			
		シ ユ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	193.25(190.25) 〔 ② 〕			
		I	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	52±5 509.9±49 〔②〕			
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔 — 〕				
作業装置	シリ ンダ 自然 伸縮			mm				
				mm				
				mm				
	ドーザ ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔 — 〕				
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔 — 〕				
		(作動油温)	(℃)	(45～55)				
	作業 機 速 度			sec				
				sec				
		ドーザ ショベル	リフトアーム上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔 — 〕			
			バケットチルトバック (又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔 — 〕			
		(作動油温)	(℃)	(45～55)				
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	155±8 15200±784 (45～55)				

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

コ マ ツ

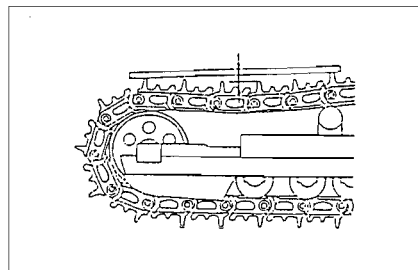
モ デ ル 名

D57S-1B

①

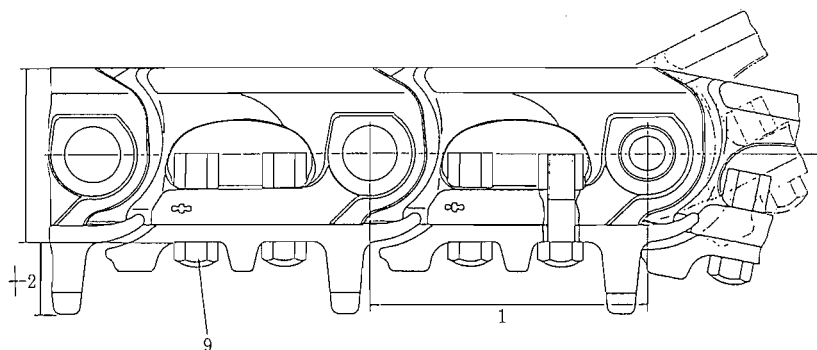
■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドルの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で20～30mm あれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整して下さい。



②

トラック（履帯）



		適 用 号 機	基 本 寸 法	修 理 可 能 限 度	
1	リンクピッチ	6501～	190.25	193.25	反転または 交 換
9	シューボルト締付トルク	52 ± 5 kgm			増 締 め

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D60P-12				
		仕様	ストレート チルト				
		適用号機	60884～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2100±50 825±25 — (70～85) (45～55)			
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～5 294～490 (90～110) (2100)			
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.33 0.71 [常温]			
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	36 3530 (70～85) (200～250)			
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	175 17162			
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [kg N]	10 [6 58.8]			
動力伝達装置	主クラッチペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	— — 10.5±1.5			
	主クラッチ・トランスミッション	主クラッチ型	クラッチシリンダ油圧	kg/cm ² kPa	23±1 — 2256±98		
		ダイレクト シフト型		kg/cm ² kPa			
			ミッション潤滑油圧	kg/cm ² kPa	1.5 147		
				kg/cm ² kPa			
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(70～80) (2100)			
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	11.25±1.25 110.25±12.25			
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 9.0±1.5			
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)	25±1 2452±98 (70～80)			

適用範囲		モデル名		D60P-12				
		仕様		ストレート チルト				
		適用号機		60884～				
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト	張り（たわみ量） 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 — 〕			
		鉄	張り（たわみ量） 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔 ① 〕			
		シ ュ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	206.45 (203.45) 〔 ② 〕			
		1	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	[②]			
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔 ③ 〕				
作業装置	シ リ ン ダ 自 然 伸 縮	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔 ④ 〕			
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	200 〔 ④ 〕			
			リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔 — 〕			
	作 業 機 速 度			mm				
				mm				
			（作動油温）	（℃）	（45～55）			
油圧装置	油 圧 回 路 設 定 圧 力	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.4 〔 ④ 〕			
			リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔 — 〕			
				sec				
				sec				
油圧装置	（作動油温）		（℃）	（45～55）				
	主回路設定圧力		kg/cm ² kPa	210±10 20594±981				
	（作動油温）		（℃）	（45～55）				

★ リンクピッチの（ ）内は基本寸法を示す

コ マ ツ

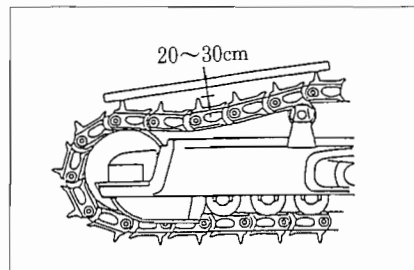
モデル名

D60P-12

①

■ 点 検

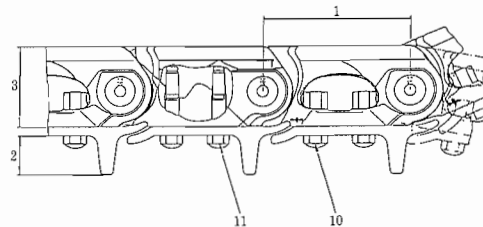
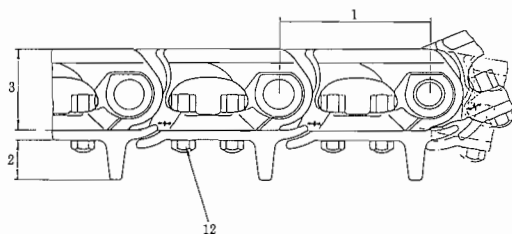
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。標準の張りでないときは、つぎのように調整して下さい。



②

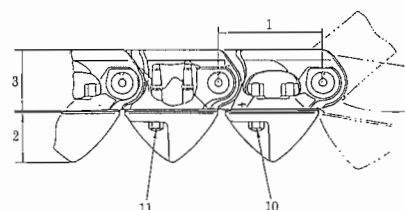
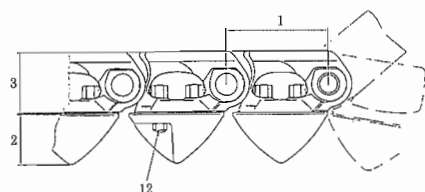
トラックシュー（乾式）

トラックシュー（オイル封入式）



湿地シュー

湿地シュー



1	リンクピッチ	基本寸法	修理可能限度	反 転 または 交 換
		203.45	206.45	
12	シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 角	増締め または 交 換
		40 ± 4kgm	120 ± 10°	

1	リンクピッチ	基 本 寸 法		許 容 限 度		反 転 または 交 換
		203.45		—		
10	レギュラ シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 め	下限トルク		増締め または 交 換
		40 ± 4kgm	120 ± 10°	—		
11	マスタリンク 締付ボルト 締付トルク	35 ± 4kgm	180 ⁰ _{—20°}	80 kgm		増締め または 交 換

③

■ D60P の場合



警 告

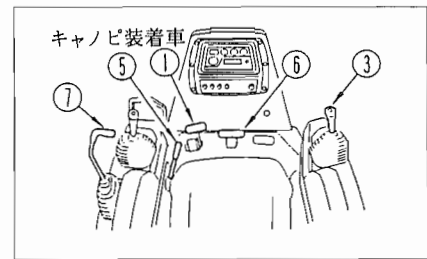
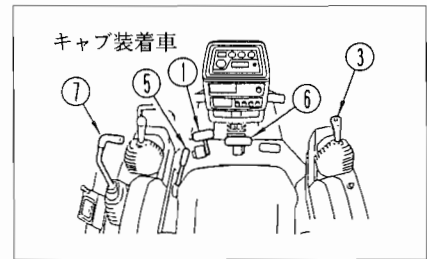
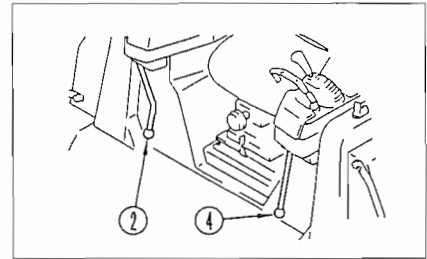
以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼して下さい。

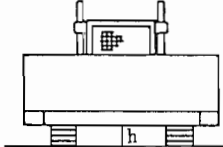
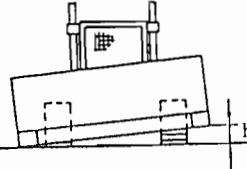
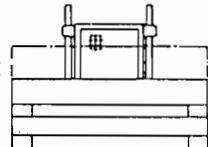
重 要

変速レバーは 1 速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行って下さい。

- ① メインクラッチペダル ① をいっぱいに踏込んで下さい。
- ② エンジンを始動させて下さい。
- ③ セフティレバー ② をフリーにして、ブレード操作レバー ③ を操作してブレードを上げて下さい。
セフティレバーは、フリーの位置のままにしておいて下さい。
- ④ パーキングレバー ④ をフリーにして下さい。
- ⑤ 燃料調整レバー ⑤ を操作して、ローアイドルリングとフル回転の中間位置まで引いて下さい。
- ⑥ ブレーキペダル ⑥ を踏み、変速レバー ⑦ を2速に入れて下さい。
- ⑦ ブレーキペダル ⑥ を踏込んだままでメインクラッチペダル ① をゆっくりもどして下さい。
- ⑧ 上記操作でエンジンが停止して車両が動かなければブレーキは正常です。



項目	測定条件	単位	D60P-12	
			新車基準値	故障判定基準値
④ 自然降下量	作業機姿勢  ブレードリフト • 作動油温：45～55℃ • エンジン停止 • ブレード中刃地上800mmからの降下量	mm/ 15min	100以下	—
	作業機姿勢  ブレードチルト • 作動油温：45～55℃ • エンジンスロー • ブレード刃先の降下量	左チルト	200以下	—
		右チルト	200以下	—
作業機速度	作業機姿勢  ブレード (リフト) • エンジンフル • 作動油温：45～55℃ • ブレード：無負荷 • 地上～上昇限	上げ sec	2.4 ^{+0.2} _{-0.5}	2.5

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D65E-12	D65P-12	D65EX-12	D65PX-12	
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレートチルト, IISステアリング	ストレートチルト, IISステアリング	
		適用号機		60948～	60891～	60942～	60915～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング	rpm	2100±50	2100±50	2100±50	2100±50	
		ローアイドルリング	rpm	825±25	825±25	825±25	825±25	
		トルコンストール状態	rpm	1690±100	1770±100	1770±100	1770±100	
		(冷却水温)	(°C)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	
		(作動油温)	(°C)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	
	エンジン油圧	エンジン油圧	kg/cm ²	3～5	3～5	3～5	3～5	
		(油温)	kPa	294～490	294～490	294～490	294～490	
	(回転速度)	(油温)	(°C)	(90～100)	(90～100)	(90～100)	(90～100)	
		(回転速度)	(rpm)	(2100)	(2100)	(2100)	(2100)	
燃料装置	弁すき間	弁すき間	mm	0.33	0.33	0.33	0.33	
		吸気弁 スキ間	mm	0.71	0.71	0.71	0.71	
	排気弁 スキ間	排気弁 スキ間	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]	
		[測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]	
	圧縮圧力	圧縮圧力	kg/cm ²	36	36	36	36	
冷却装置	(冷却水温)	(冷却水温)	kPa	3530	3530	3530	3530	
		(冷却水温)	(°C)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	
	(回転速度)	(回転速度)	(rpm)	(200～250)	(200～250)	(200～250)	(200～250)	
		(回転速度)	(rpm)	(200～250)	(200～250)	(200～250)	(200～250)	
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ²	175	175	175	175	
動力伝達装置	燃料装置	燃料噴射開始圧力	kPa	17162	17162	17162	17162	
		燃料噴射開始圧力	kPa	17162	17162	17162	17162	
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	10	10	10	10	
		[測定位置・条件]	[kg N]	[6 58.8]	[6 58.8]	[6 58.8]	[6 58.8]	
	トランスミッション	トルコン油圧	kg/cm ²	7.5±1.5	7.5±1.5	7.5±1.5	7.5±1.5	
		トルコン油圧	kPa	735±147	735±147	735±147	735±147	
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ²	1.0±0.5	1.0±0.5	1.0±0.5	1.0±0.5	
		ミッション潤滑油圧	kPa	98±49	98±49	98±49	98±49	
		クラッチ油圧	kg/cm ²	34±1	34±1	34±1	34±1	
		クラッチ油圧	kPa	3334±98	3334±98	3334±98	3334±98	
	(ミッション油温)	(ミッション油温)	(°C)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	
		(エンジン回転速度)	(rpm)	(2100)	(2100)	(2100)	(2100)	
ステアリング装置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm	11.25±1.25	11.25±1.25	11.25±1.25	11.25±1.25	
		ボルト締付けトルク	N・m	110.25±12.5	110.25±12.5	110.25±12.5	110.25±12.5	
	レバ	レバー遊びのストローク	cm	—	—	—	—	
ステアリング装置	レバ	レバーの全ストローク	cm	9.0±1.5	9.0±1.5	8.4±1.0	8.4±1.0	
		ステアリングクラッチ油圧	kg/cm ²	25±1	25±1	375±20	375±20	
ステアリング装置	(油温)	(油温)	kPa	2452±98	2452±98	36775±1961	36775±1961	
		(油温)	(°C)	(70～80)	(70～80)	(45～55)	(45～55)	

[illegible]

適用範囲		モデル名		D65E-12	D65P-12	D65EX-12	D65PX-12	
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレートチルト, IISステアリング	ストレートチルト, IISステアリング	
		適用号機		60948～	60891～	60942～	60915～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
		鉄	張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕
		シ ュ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	206.45 (203.45) 〔②〕	206.45 (203.45) 〔②〕	206.45 (203.45) 〔②〕	206.45 (203.45) 〔②〕
		1	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	〔②〕	〔②〕	〔②〕	〔②〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	— 〔③〕	— 〔③〕	— 〔③〕	— 〔③〕	
作業装置	シリンダ	ブルドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	200 〔④〕	200 〔④〕	200 〔④〕	200 〔④〕
			リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕
	自然伸縮			mm				
				mm				
	(作動油温)		(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	
	作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.6 〔⑤〕	2.4 〔⑤〕	2.6 〔⑤〕	2.4 〔⑤〕
			リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.4±0.2 〔⑥〕	— 〔—〕	1.4±0.2 〔⑥〕	— 〔—〕
				sec				
				sec				
	(作動油温)		(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	210±10 20594±981 (45～55)	210±10 20594±981 (45～55)	240±10 23536±981 (45～55)	240±10 23536±981 (45～55)	

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

[illegible]

コ マ ッ

モデル名

D65E-12

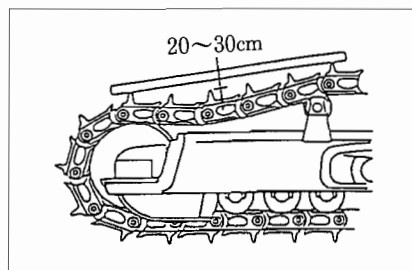
D65P-12

D65EX-12

D65PX-12

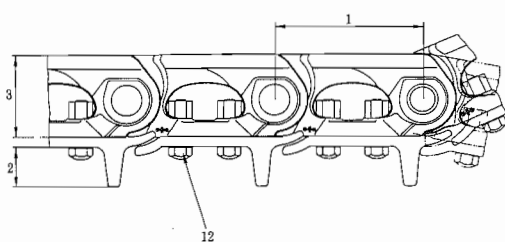
① ■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整して下さい。

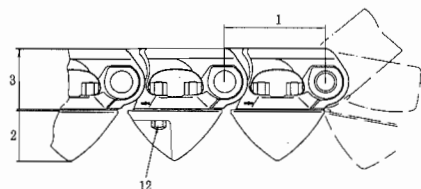


②

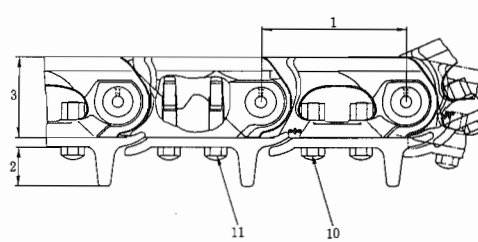
トラックシュー（乾式）



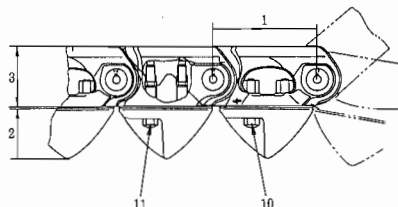
湿地シュー



トラックシュー（オイル封入式）



湿地シュー



1	リンクピッチ	基本寸法	修理可能限度	反 転 または 交 換
		203.45	206.45	
12	シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 角	増締め または 交 換
		40 ± 4 kgm	120 ± 10°	

1	リンクピッチ	基 本 寸 法		許 容 限 度		反 転 または 交 換
		203.45		—		
10	レギュラ シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 め	下限トルク	増締め または 交 換	
		40 ± 4 kgm	120 ± 10°	—		
11	マスタリンク 締付ボルト 締付トルク	35 ± 4 kgm	180 ⁰ _{—20°}	80 kgm	増締め または 交 換	

③ ■ D65E, P, D65EX, PX-12P の場合



警 告

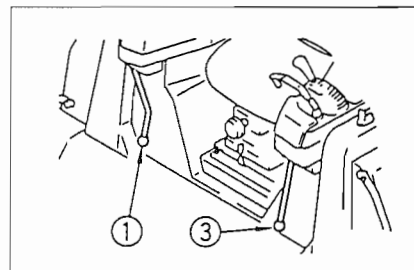
以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼して下さい。

重 要

変速レバーは1速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行って下さい。

① エンジンを始動させて下さい。



② セフティレバー ① をフリーにして、ブレード操作レバー ② を操作してブレードを上げて下さい。

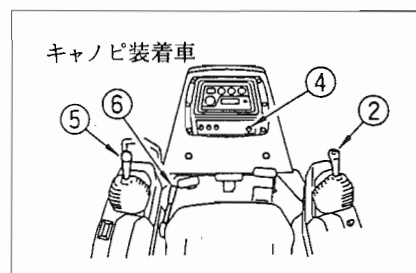
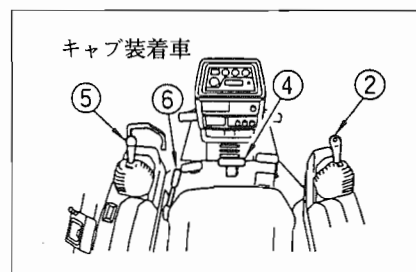
セフティレバーは、フリーの位置のままにしておいて下さい。

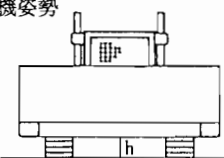
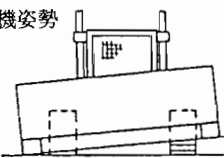
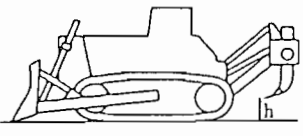
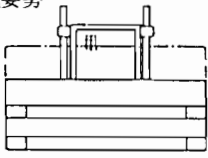
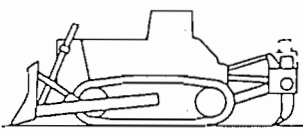
③ パーキングレバー ③ をフリーにして下さい。

④ ブレーキペダル ④ を踏み、変速レバー ⑤ を2速に入れて下さい。

⑤ 燃料調整レバー ⑥ を操作して、エンジン回転をフル回転まで徐々に上げて下さい。

⑥ 上記操作で車両が動かなければブレーキは正常です。



項 目		測 定 条 件		単位	新 車 基 準 値	故障判定基準値
④ 自然降下量	ブレードリフト	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ブレード中刃地上800mmからの降下量		mm/ 15min	100以下	—
	ブレードチルト	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・エンジンスロー ・ブレード刃先の降下量	左チルト		200以下	—
	リッパリフト(OP)	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ポイント下限 地上500mmから	右チルト		200以下	—
⑤ 作業機速度	ブレード(リフト)	作業機姿勢  ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード：無負荷 ・地上～上昇限	上げ	sec	2.4 ^{+0.2} _{-0.5}	2.5
	リッパ(OP)	作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・シャंक穴最下段 ・地上～上昇限	上げ		—	—
			エンジンスロー	sec	—	—
			エンジンフル		—	—
					—	—

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		BD2J				
		仕様		DPS-STD	DPS-LGP	DPS-SLGP	DD-STD	DD-LGP
		適用号機		JB510001~	JB610001~	JB710001~	JB010001~	JB110001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング	rpm	2470 ⁺⁰ ₋₅₀	2470 ⁺⁰ ₋₅₀	2640 ⁺⁰ ₋₅₀	2470 ⁺⁰ ₋₅₀	2470 ⁺⁰ ₋₅₀
		ローアイドルリング	rpm	860±20	860±20	860±20	860±20	860±20
		トルコンストール状態	rpm	—	—	—	—	—
		(冷却水温)	(℃)	(75~85)	(75~85)	(75~85)	(75~85)	(75~85)
		(作動油温)	(℃)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
	弁すき間	エンジン油圧	kg/cm ² KPa	3~5 294~490	3~5 294~490	3~5 294~490	3~5 294~490	3~5 294~490
		(油温)	(℃)	(60~70)	(60~70)	(60~70)	(60~70)	(60~70)
		(回転速度)	(rpm)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)
		吸気弁 スキ間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
	燃料装置	排気弁 スキ間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
		[測定条件]	[]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]
		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	kg/cm ² KPa	33 3234	33 3234	33 3234	33 3234	33 3234
		(冷却水温)	(℃)	(20~30)	(20~30)	(20~30)	(20~30)	(20~30)
		(回転速度)	(rpm)	(150~200)	(150~200)	(150~200)	(150~200)	(150~200)
動 力 伝 達 装 置	燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² KPa	140 13720	140 13720	120 11760	140 13720	140 13720
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	mm kg N	12 [水ポンププ リとオルタ ネータの中 間]	12 [水ポンププ リとオルタ ネータの中 間]	12 [水ポンププ リとオルタ ネータの中 間]	12 [水ポンププ リとオルタ ネータの中 間]	12 [水ポンププ リとオルタ ネータの中 間]
	クラッチ又は インキングペ ダル	ペダル取り付け高さ	cm	20	20	20	20	20
		ペダルの遊びのストローク	cm	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
		ペダルの全ストローク	cm	14.5	14.5	14.5	16	16
		主クラッチ型	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
		流体継ぎ手型	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
	ミッション 油圧	ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	1~2 98~196	1~2 98~196	1~2 98~196	—	—
		クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	19~22 1862~2156	19~22 1862~2156	19~22 1862~2156	—	—
		(ミッション油温)	(℃)	(50)	(50)	(50)	—	—
		(エンジン回転速度)	(rpm)	(2300)	(2300)	(2300)	—	—
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ ー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 20~22	— 20~22	— 20~22	— 20~22	— 20~22
	ステアリングクラッチ油圧 又は ステアリングクラッチダ油圧	(油温) (回転速度)	kg/cm ² KPa (℃)	15~17 1470~1666 (50)	15~17 1470~1666 (50)	15~17 1470~1666 (50)	15~17 1470~1666 (50)	15~17 1470~1666 (50)

BD2J		BS3J				D3CシリーズⅢ		
DD-SLGP	DD-SSLGP	DPS-STD	DPS-LGP	DD-STD	DD-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
JB210001～	JB310001～	JS510001～	JS610001～	JS010001～	JS110001～	6SL00001～	7GS00001～	9CL00001～
検 査 基 準 値								
2640 ⁺⁰ ₋₅₀ 860±20 — (75～85) (—)	2640 ⁺⁰ ₋₅₀ 860±20 — (75～85) (—)	2470 ⁺⁰ ₋₅₀ 860±20 — (75～85) (—)	2470 ⁺⁰ ₋₅₀ 860±20 — (75～85) (—)	2470 ⁺⁰ ₋₅₀ 860±20 — (75～85) (—)	2470 860 — (75～85) (—)	2560±50 750±30 — (70～80) (80～90)	2580±40 800±50 — (70～80) (80～90)	2560±50 750±30 — (70～80) (80～90)
3～5 (60～70) (1500)	3～5 (60～70) (1500)	3～5 (60～70) (1500)	3～5 (60～70) (1500)	3～5 (60～70) (1500)	3～5 (60～70) (1500)	3～5 294～490 (80～90) (2400)	3～5 294～490 (80～90) (2400)	3～5 294～490 (80～90) (2400)
0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]
33 3234 (20～30) (150～200)	33 3234 (20～30) (150～200)	33 3234 (20～30) (150～200)	33 3234 (20～30) (150～200)	33 3234 (20～30) (150～200)	33 3234 (20～30) (150～200)	33 3234 (—) (300)	33 3234 (—) (300)	33 3234 (—) (300)
120	120	140	140	140	140	180 17650	180 17650	180 17650
12 〔水ポンププー リとオルタ ネータの中 間〕	12 〔水ポンププー リとオルタ ネータの中 間〕	12 〔水ポンププー リとオルタ ネータの中 間〕	12 〔水ポンププー リとオルタ ネータの中 間〕	12 〔水ポンププー リとオルタ ネータの中 間〕	12 〔水ポンププー リとオルタ ネータの中 間〕	12 〔プーリ間 —〕	12 〔プーリ間 —〕	12 〔プーリ間 —〕
20 1.5 16	20 1.5 16	20 1.5 14.5	20 1.5 14.5	20 1.5 16	20 1.5 16	14±1.5	—	14±1.5
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1～2 98～196	1～2 98～196	1～2 98～196	1～2 98～196	0.9±0.2 88±19	—	0.9±0.2 88±19
—	—	19～22 1862～2156	19～22 1862～2156	19～22 1862～2156	19～22 1862～2156	25.4以上 2485以上	—	25.4以上 2485以上
—	—	(50) (2300)	(50) (2300)	(50) (2300)	(50) (2300)	(52±3) (2560)	() ()	(52±3) (2560)
2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6	2.3 22.6	5.6±0.7 54.9±0.9	—	5.6±0.7 54.9±0.9
— 20～22	— 20～22	— 20～22	— 20～22	— 20～22	— 20～22	15.5 (参考)	—	15.5 (参考)
15～17 1470～1666 (50)	15～17 1470～1666 (50)	15～17 1470～1666 (50)	15～17 1470～1666 (50)	15～17 1470～1666 (50)	15～17 1470～1666 (50)	19.5以上 1910以上 (52±3) (1600以上)	— ()	19.5以上 1910以上 (52±3) (1600以上)

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		BD2J				
		仕様		DPS-STD	DPS-LGP	DPS-SLGP	DD-STD	DD-LGP
		適用号機		JB510001～	JB610001～	JB710001～	JB010001～	JB110001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕
		ユ 履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上					
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	5mm/5分 〔図 4〕	5mm/5分 〔図 4〕	5mm/5分 〔図 4〕	5mm/5分 〔図 4〕	5mm/5分 〔図 4〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		リッパシャंकシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕						
	ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
作業装置	(作動油温)		(℃)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)
	ブル・ドーザ	ブレード上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	4.0 (2.4) 〔図 7〕	4.0 (2.4) 〔図 7〕	4.0 (2.4) 〔図 7〕	4.0 (2.4) 〔図 7〕	4.0 (2.4) 〔図 7〕
		リッパ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
	ドーザ・ショベル	リフトアーム上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		バケットチルトバック (又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
油圧装置	(作動油温)		(℃)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)
	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² KPa (℃)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)

BS2J		BS3J				D3CシリーズⅢ		
DD-SLGP	DD-SSLGP	DPS-STD	DPS-LGP	DD-STD	DD-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
JB210001～	JB310001～	JS510001～	JS610001～	JS010001～	JS110001～	6SL00001～	7GS00001～	9CL00001～
検 査 基 準 値								
120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕			
2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	2～3 〔図 1〕	〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕
550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕	550 〔4 リンクピッチ〕			
17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196	17～20 167～196	9.2±2.0 〔90±20 トルクターン 120±5°〕	9.2±2.0 〔90±20 トルクターン 120±5°〕	9.2±2.0 〔90±20 トルクターン 120±5°〕
						・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔F2ハイアイドルで 発進不可〕	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔駆動ポンプスト ール時に発進不可 のこと。〕	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔F2ハイアイドルで 発進不可〕
5mm/5分 〔図 4〕	5mm/5分 〔図 4〕					7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 6.3 〔図 5〕	7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 6.3 〔図 5〕	7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕
		5mm/5分 〔図 6〕 7mm/5分 〔図 6〕	5mm/5分 〔図 6〕 7mm/5分 〔図 6〕	5mm/5分 〔図 6〕 7mm/5分 〔図 6〕	5mm/5分 〔図 6〕 7mm/5分 〔図 6〕			
(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(38～65)	(38～65)	(38～65)
4.0 (2.4) 〔図 7〕	4.0 (2.4) 〔図 7〕					3.5 〔図 8〕 7.1 〔図 8〕	3.5 〔図 8〕 7.1 〔図 8〕	3.5 〔図 8〕 7.1 〔図 8〕
		15.7 (3.9) 〔図 9〕 3.3 (3.1) 〔図 9〕	15.7 (3.9) 〔図 9〕 3.3 (3.1) 〔図 9〕	15.7 (3.9) 〔図 9〕 3.3 (3.1) 〔図 9〕	15.7 (3.9) 〔図 9〕 3.3 (3.1) 〔図 9〕			
(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(38～65)	(38～65)	(38～65)
170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	170 16660 (40)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)	181.4±7.1 17775±700 (38～65)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D3CシリーズⅢ		D4CシリーズⅢ		
		仕様		HST-LGP	DPS-SLGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
		適用号機		5N500001～	8DL00001～	6YL00001～	7NS00001～	8EL00001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	rpm	2580±40	2560±50	2560±50	2580±40	2560±50
		ハイアイドルリング	rpm	800±50	750±30	750±30	800±50	750±30
		ローアイドルリング	rpm	—	—	—	—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)
		(作動油温)	(℃)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)
		エンジン油圧	kg/cm ² KPa	3～5 294～490	3～5 294～490	3～5 294～490	3～5 294～490	3～5 294～490
		(油温)	(℃)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)
		(回転速度)	(rpm)	(2400)	(2400)	(2400)	(2400)	(2400)
	弁すき間	吸気弁スキ間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
		排気弁スキ間 [測定条件]	mm []	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]
	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	(冷却水温)	kg/cm ² KPa (℃)	30 2940 (—)	30 2940 (—)	30 2940 (—)	30 2940 (—)	30 2940 (—)
		(回転速度)	(rpm)	(300)	(300)	(300)	(300)	(300)
燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力		kg/cm ² KPa	180 17650	180 17650	180 17650	180 17650	180 17650
冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)]		mm kg N	12 [プーリ間] —	12 [プーリ間] —	12 [プーリ間] —	12 [プーリ間] —	12 [プーリ間] —
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インチングペ ダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	14±1.5	14±1.5	—	14±1.5
		ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm					
	主クラッ チ型 流体継ぎ 手型	ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	kg/cm ² KPa					
		トルコン油圧	kg/cm ² KPa					
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	—	0.9±0.2 88±19	0.9±0.2 88±19	—	0.9±0.2 88±19
		クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	—	25.4以上 2485以上	28.5以上 2792以上	—	28.5以上 2792以上
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	() ()	(52±3) (2560)	(52±3) (2560)	() ()	(52±3) (2560)
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ ー	プロペラシャフト	kgm N・m	—	5.6±0.7 54.9±0.9	5.6±0.7 54.9±6.9	—	5.6±0.7 54.9±6.9
		ボルトルネ付けトルク						
	ステア リ ン グ 装 置	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm		15.5 (参考)	15.5 (参考)	—	15.5 (参考)
		ステアリングクラッチ油圧 又は ステアリングクラッチ油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² KPa (℃) (rpm)	— ()	19.5以上 1910以上 (52±3) (1600以上)	19.5以上 1910以上 (52±3) (1600以上)	— ()	19.5以上 1910以上 (52±3) (1600以上)

D4CシリーズⅢ	D5CシリーズⅢ				D5M	D6M		D6R
HST-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP	HST-LGP	DPS-LGP	PS-XL	PS-LGP	PS-XR
6PS00001～	9DL00001～	9AS00001～	7YL00001～	4WS00001～	7LR00001～	4HS00001～	5NR00001～	6HR00001～
検 査 基 準 値								
2580±40 800±50 — (70～80) (80～90)	2560±50 750±30 — (70～80) (80～90)	2580±40 800±50 — (70～80) (80～90)	2560±50 750±30 — (70～80) (80～90)	2580±40 800±50 — (70～80) (80～90)	2125±50 850±30 — (80～90) (85±5)	2315±50 850±30 1930±65 (80～90) (85±5)	2315±50 850±30 1930±65 (80～90) (85±5)	2080±50 800±30 1631±65 (80～90) (85±5)
3～5 294～490 (80～90) (2400)	3～5 294～490 (80～90) (2400)	3～5 294～490 (80～90) (2400)	3～5 294～490 (80～90) (2400)	3～5 294～490 (80～90) (2400)	3.4 330 (90～100) (2000)	3.6 350 (90～100) (2200)	3.6 350 (90～100) (2200)	3.9 380 (90～100) (1900)
0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.25 0.25 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]
30 2940 (—) (300)	30 2940 (—) (300)	30 2940 (—) (300)	30 2940 (—) (300)	30 2940 (—) (300)	28 2750 (—) (300)	28 2750 (—) (300)	28 2750 (—) (300)	24 2350 (—) (215)
180 17650	180 17650	180 17650	180 17650	180 17650	316 31000	316 31000	316 31000	155 15200
12 〔プーリ間〕 —	12 〔プーリ間〕 —	12 〔プーリ間〕 —	12 〔プーリ間〕 —	12 〔プーリ間〕 —	特殊ゲージ使用 プーリ間 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 プーリ間 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 プーリ間 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 プーリ間 40.8kg 400N
—	14±1.5	—	—	—	100±20 10±5 95±10	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	4.8±0.7 470±70	4.8±0.7 470±70	5.3±0.7 520±70
—	0.9±0.2 88±19	—	0.9±0.2 88±19	—	2.2±0.2 220±50	2.0±0.3 200±30	2.0±0.3 200±30	2.6±0.5 255±55
—	25.3以上 2482以上	—	25.3以上 2482以上	—	31.6±1.5 3100±150	31.6±1.5 3100±150	31.6±1.5 3100±150	31.6±1.5 3100±150
() ()	(52±3) (2560)	() ()	(52±3) (2560)	() ()	(75°±5°) (2125±30)	(75°±5°) (2340±30)	(75°±5°) (2340±30)	(80±5) (2080±30)
—	5.6±0.7 54.9±6.9	—	5.6±0.7 54.9±6.9	—	10.7±2.0 105±20	6.1±1.2 60±12	6.1±1.2 60±12	5.1±1.0 50±10
—	15.5 (参考)	—	15.5 (参考)	—	13±5 35±5	13±5 35±5	13±5 35±5	13±5 35±5
— ()	22.4以上 2200以上 (52±3) (1600以上)	— ()	22.4以上 2200以上 (52±3) (1600以上)	— ()	22.8±1.5 2240±150 (75°±5°)	22.8±1.5 2240±150 (75°±5°)	22.8±1.5 2240±150 (75°±5°)	22.8±1.5 2240±150 (80±50)

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D3CシリーズⅢ		D4CシリーズⅢ			
		仕様		HST-LGP	DPS-SLGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP	
		適用号機		5N500001～	8DL00001～	6YL00001～	7NS00001～	8EL00001～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm						
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	〔図2参照〕	〔図2参照〕	〔図2参照〕	〔図2参照〕	〔図2参照〕	
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm						
		ユ 履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°	9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°	9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°	9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°	9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5以上	・勾配1/5で車両静止状態を維持出来ること。 〔駆動ポンプストール時に発進不可のこと。〕	・勾配1/5で車両静止状態を維持出来ること。 〔F2ハイドルで発進不可〕	・勾配1/5で車両静止状態を維持出来ること。 〔F2ハイドルで発進不可〕	・勾配1/5で車両静止状態を維持出来ること。 〔駆動ポンプストール時に発進不可のこと。〕	・勾配1/5で車両静止状態を維持出来ること。 〔F2ハイドルで発進不可〕	
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	7.1 〔図5〕	7.1 〔図5〕	7.1 〔図5〕	7.1 〔図5〕	7.1 〔図5〕	
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	6.1 〔 〕	6.1 〔 〕	6.1 〔 〕	6.1 〔 〕	6.1 〔 〕	
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	— 〔 〕	— 〔 〕	6.3 〔図5〕	6.3 〔図5〕	— 〔 〕	
		リッパシャックシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	
	ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm						
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm						
	(作動油温)		(℃)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	
	作業速度	ブル・ドーザ	ブレード上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	3.5 〔図8〕	3.7 〔図8〕	3.5 〔図8〕	3.5 〔図8〕	3.5 〔図8〕
			リッパ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔 〕	— 〔 〕	7.1 〔図8〕	7.1 〔図8〕	— 〔 〕
		ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
バケットチルトバック (又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕			sec						
(作動油温)		(℃)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² KPa (℃)	181.4±7.1 17775±700 (38～65)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)	181.4±7.1 17775±700 (38～65)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)	

D4CシリーズⅢ	D5CシリーズⅢ				D5M	D6M		D6R
HST-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP	HST-LGP	DPS-LGP	PS-XL	PS-LGP	PS-XR
6PS00001～	9DL00001～	9AS00001～	7YL00001～	4WS00001～	7LR00001～	4HS00001～	5NR00001～	6HR00001～
検 査 基 準 値								
〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕	35±6 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 3 参照〕	100±10 〔図 3 参照〕
9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°	17.3±4.1 170±40 〔トルクターン〕 120±5°	17.3±4.1 170±40 〔トルクターン〕 120±5°	17.3±4.1 170±40 〔トルクターン〕 120±5°	17.3±4.1 170±40 〔トルクターン〕 120±5°	17.3±4.1 170±40 〔トルクターン〕 120°	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン〕 120°	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン〕 120°	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン〕 120°
・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔駆動ポンプス トール時に発進不可 のこと。〕	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 F2ハイアイドルで 発進不可	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔駆動ポンプス トール時に発進不可 のこと。〕	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 F2ハイアイドルで 発進不可	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔駆動ポンプス トール時に発進不可 のこと。〕	ブレーキトルク 1000kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが回 転しないこと。〕	ブレーキトルク 755kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが回 転しないこと。〕	ブレーキトルク 1000kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが回 転しないこと。〕	ブレーキトルク 1258kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが回 転しないこと。〕
7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 — 〔 — 〕	7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 6.3 〔図 5〕	7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 6.3 〔図 5〕	7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 — 〔 — 〕	7.1 〔図 5〕 6.1 〔 〕 — 〔 — 〕	32 以内 〔図 5 参照〕 13 以内 〔図 5 参照〕 25 以内 〔図 5 参照〕 —	32 以内 〔図 5 参照〕 13 以内 〔図 5 参照〕 25 以内 〔図 5 参照〕 —	32 以内 〔図 5 参照〕 13 以内 〔図 5 参照〕 25 以内 〔図 5 参照〕	38 以内 〔図 5 参照〕 11 以内 〔図 5 参照〕 10 以内 〔図 5 参照〕
(38～65)	(38～65)	(38～65)			(38±10)	(38±10)		(38±10)
3.5 〔図 8〕 — 〔 — 〕	3.5 〔図 8〕 7.1 〔図 8〕	3.5 〔図 8〕 7.1 〔図 8〕	3.5 〔図 8〕 6.3 〔図 8〕	3.5 〔図 8〕 6.3 〔図 8〕	2.5 以内 〔図 8 参照〕 〔 — 〕	2.7 以内 〔図 8 参照〕 〔 — 〕	2.7 以内 〔図 8 参照〕 〔 — 〕	4.3 以内 〔図 8 参照〕 2.8 〔図 8 参照〕
(38～65)	(38～65)	(38～65)			(65±3)	(65±3)	(38～65)	(38～65)
181.4±7.1 17775±700 (38～65)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)	181.4±7.1 17775±700 (38～65)	175.8±3.6 17225±350 (38～65)	181.4±7.1 17775±700 (38～65)	211.0±3.6 20700±350 (102° 未満)	253.0±3.6 24800±350 (102° 未満)	253.0±3.6 24800±350 (102° 未満)	192～202 18800～19800 (102° 未満)

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D6R				933C
		仕様		DS-XR	PS-LPG	DS-LGP	DPS-LGP	STD
		適用号機		7DR00001~	7AR00001~	4TR00001~	6GR00001~	4MS00001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	rpm	2080±50	2100±50	2100±50	2380±50	2580±40
		ハイアイドルリング	rpm	800±30	800±30	800±30	800±30	850±50
		ローアイドルリング	rpm	1631±65	1667±65	1667±65	—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	(80~90)	(70~80)
		(作動油温)	(℃)	(85±5)	(85±5)	(85±5)	(85±5)	(80~90)
		エンジン油圧	kg/cm ² KPa	3.9 380	3.9 380	3.9 380	3.9 380	3~5 294~490
		(油温)	(℃)	(90-100)	(90-100)	(90-100)	(90-100)	(80~90)
		(回転速度)	(rpm)	(1900)	(1900)	(1900)	(1900)	(2400)
		弁すき間	mm	0.38	0.38	0.38	0.38	0.25
		吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm []	0.64 [冷時]	0.64 [冷時]	0.64 [冷時]	0.64 [冷時]	0.25 [冷時]
動 力 伝 達 装 置	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² KPa	155 15200	155 15200	155 15200	155 15200	180 17650
			mm kg N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	12 [プーリ間] —
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	mm kg N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	特殊ゲージ使用 [プーリ間] 40.8kg 400N	12 [プーリ間] —
			cm cm cm	—	—	—	130±20 10±5 95±10	—
	クラッチ又は インチングペ ダル	主クラッチ型	kg/cm ² KPa	—	—	—	—	—
		流体継ぎ 手型	kg/cm ² KPa	5.3±0.7 520±70	5.3±0.7 520±70	5.3±0.7 520±70	—	—
		ミッション潤滑油圧	kg/cm ² KPa	3.0±0.5 290±55	2.6±0.5 255±55	3.0±0.5 290±55	2.6±0.5 255±55	—
		クラッチ油圧	kg/cm ² KPa	31.6±1.5 3100±150	31.6±1.5 3100±150	31.6±1.5 3100±150	31.6±1.5 3100±150	—
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)	(80±5) (2080±30)	(80±5) (2100±30)	(80±5) (2100±30)	(75±5) (2320±30)	() ()
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	5.1±1.0 50±10	5.1±1.0 50±10	5.1±1.0 50±10	24.5±4.1 240±40	—
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ	レバー遊びのストローク	cm	20±5	13±5	20±5	13±5	—
		レバーの全ストローク	cm	85±5	35±5	85±5	85±5	—
ス テ ア リ ン グ 装 置	ステアリングクラッチ油圧 又は ステアリングクラッチダ油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² KPa (℃) (rpm)	—	22.8±1.5 2240±150 (80±50)	—	22.8±1.5 2240±150 (75±5)	— ()	— ()

933C								
LGP								
5JS00001~								
検 査 基 準 値								
2580±40 850±50 — (70~80) (80~90)								
3~5 294~490 (80~90) (2400)								
0.25 0.25 [冷時]								
30 2940 (—) (300)								
180 17650								
12 〔ブーリ間〕 —								
—								
—								
—								
—								
—								
() ()								
—								
—								
— ()								

新キャタピラー三菱 (SCM)

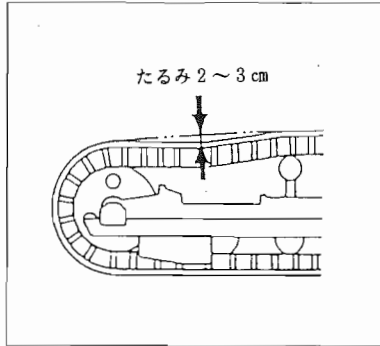
適用範囲		モデル名		D6R					933C
		仕様		DS-XR	PS-LPG	DS-LGP	DPS-LGP	STD	
		適用号機		7DR00001～	7AR00001～	4TR00001～	6GR00001～	4MS00001～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)		単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		鉄	張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	100±10 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 2 参照〕
		シ	リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		ユ	履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	kg・m N・m	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン 120°〕	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン 120°〕	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン 120°〕	40.8±7.1 400±70 〔トルクターン 120°〕	9.2±2.0 90±20 〔トルクターン 120±5°〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕		床面勾配 1/5以上	ブレーキトルク 1154kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが廻 転しないこと〕	ブレーキトルク 1258kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが廻 転しないこと〕	ブレーキトルク 1154kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが廻 転しないこと〕	ブレーキトルク 1006kgf・m 〔車両と同等のけん引 力にてスプロケットが廻 転しないこと〕	・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔駆動ポンプス トル時に発進不可〕
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブル・ドーザ	ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	38 以内 〔図 5 参照〕	38 以内 〔図 5 参照〕	38 以内 〔図 5 参照〕	38 以内 〔図 5 参照〕	
			ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	11 以内 〔図 5 参照〕	11 以内 〔図 5 参照〕	11 以内 〔図 5 参照〕	11 以内 〔図 5 参照〕	
			リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	10 以内 〔図 5 参照〕	10 以内 〔図 5 参照〕	10 以内 〔図 5 参照〕	10 以内 〔図 5 参照〕	
			リッパシャンクシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕		〔図 5 参照〕	〔図 5 参照〕	〔図 5 参照〕	〔図 5 参照〕	
	ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					7.1 〔 〕	
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					3.7 〔 〕	
	(作動油温)			(℃)	(38±10)	(38±10)	(38±10)	(38±10)	
	作業機速度	ブル・ドーザ	ブレード上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	4.3 以内 〔図 8 参照〕	4.3 以内 〔図 8 参照〕	4.3 以内 〔図 8 参照〕	4.3 以内 〔図 8 参照〕	
			リッパ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.8 以内 〔図 8 参照〕	2.8 以内 〔図 8 参照〕	2.8 以内 〔図 8 参照〕	2.8 以内 〔図 8 参照〕	
		ドーザ・ショベル	リフトアームシリンダ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					5.2 〔 〕
バケットチルトバック (又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕			sec					1.7 〔 〕	
(作動油温)			(℃)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)		kg/cm ² KPa (℃)	381～404 37400～39600 (102°未満)	192～202 18800～19800 (102°未満)	381～404 37400～39600 (102°未満)	192～202 18800～19800 (102°未満)	208.9±7.1 20475±700 (38～65)

933C								
LGP								
5JS00001~								
検 査 基 準 値								
55±10 〔図 2 参照〕								
9.2±2.0 90±20 〔トルクターン〕 120±5°								
・勾配 1/5 で車 両静止状態を維 持出来ること。 〔駆動ポンプスト ル時に発進不可〕								
7.1 〔 3.7 〕								
5.2 〔 1.7 〕								
(38~65)								
208.9±7.1 20475±700 (38~65)								

新キャタピラー三菱 (SCM)

図1. BD2J, BS3C履帯の張り測定方法

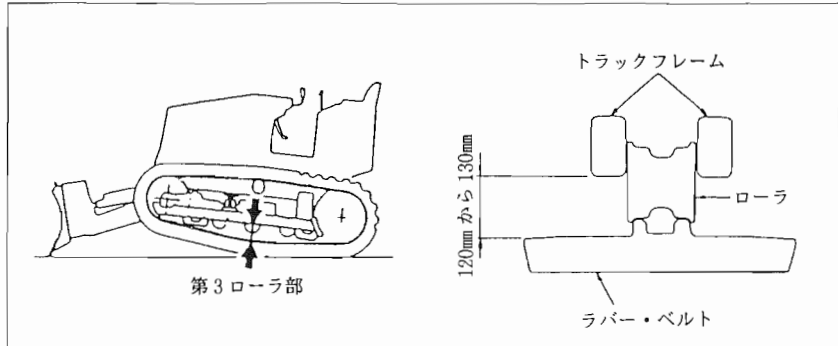
●トラックの張り点検



トラックのたるみをストレート・ゲージを使って測定し、適正値であるか点検する。

たるみ量 2~3 cm

●ラバー・ベルトの張り測定



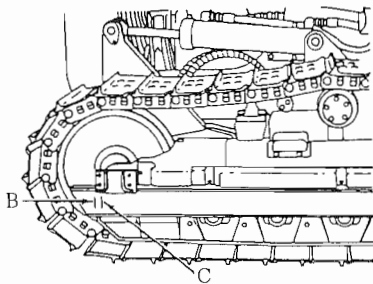
ブレード操作レバーを「下げ」の位置にして車両前方を浮かし、第3ローラ部でトラック・フレーム下面とラバー・ベルト内面の間隔が120mm から130mm であることを確認する。



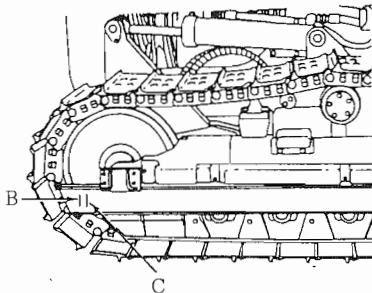
測定は、平坦な所で実施してください。

図2. D3C, D4C, D5C履帯調整方法

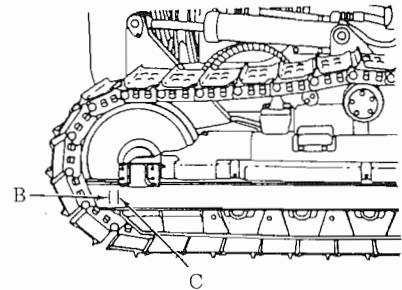
1. 車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。
2. ハイドロリック・トラック・アジャスタを使用して、トラックが一杯に張るまでフロント・アイドラを前方に移動させる。アイドラ・ベアリング・アセンブリの前面と同じ位置に、トラックローラフレームにマーク (B) を付ける。(図a参照)
3. トラックローラフレームのマーク (B) の後方10mm にマーク (C) を付ける。
4. リリーフバルブを開き、アイドラ・ベアリング・アセンブリの前面がマーク (C) の後方になるまでアイドラを移動させる。(図b参照)
5. ハイドロリック・トラック・アジャスタを使用し、アイドラ・ベアリング・アセンブリの前面がトラックローラフレームのマーク (C) と同じ位置になるまで、アイドラを前方に再移動させる。(図c参照)



図a



図b



図c

図3. D5M, D6M, D6R履帯の張り測定方法

トラックを前進から停止させた後、フロントアイドラ及びファイナルドライブのスプロケット間のトラックのたるみを、下記の様に測定すること。また、下記に示す値になるようにリコイルメカニズムを調整すること。

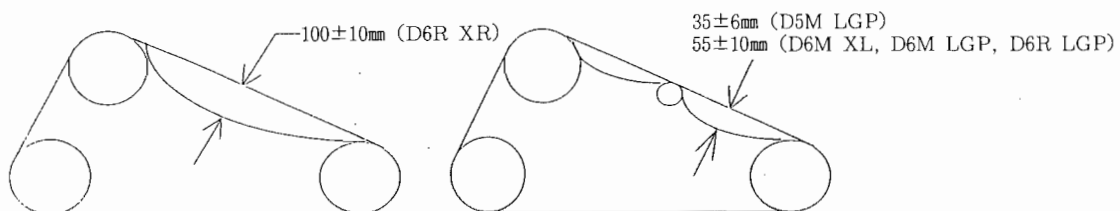
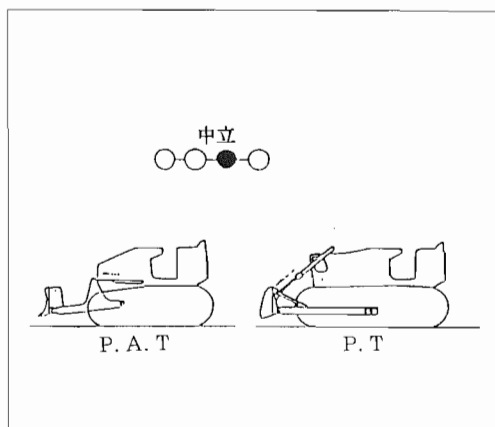


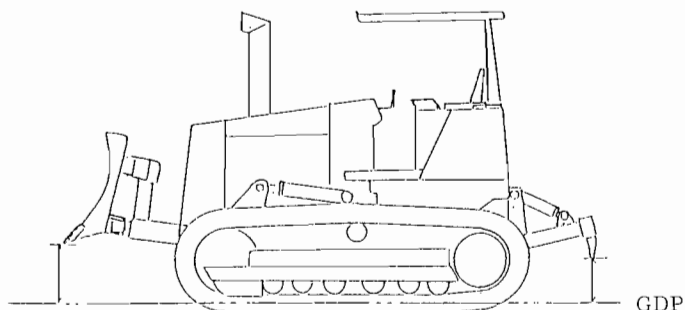
図4. BD2J シリンダの自然伸縮測定方法
(BD2J-PAT・PT)



ブレードを上げてフレーム部を地面と水平にし、コントロール・レバーを「中立」にして、エンジンを停止する。

ロッドの伸び量が5分間で5mm以内、油温30～40℃

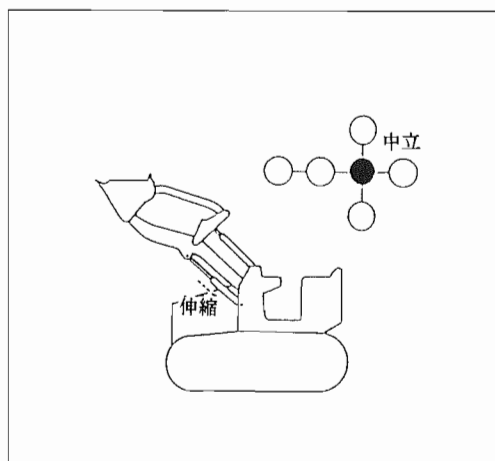
図5. D3C, D4C, D5C 及び D5M, D6M, D6R シリンダの自然伸縮測定方法



作業装置を、上げ最大位置 (D3C, D4C, D5C) 又は、地面から $300 \pm 100\text{mm}$ (D5M, D6M, D6R) に作動後、エンジンを停止し、5分間の降下量を測定する。

図6. BS3J シリンダの自然伸縮測定方法

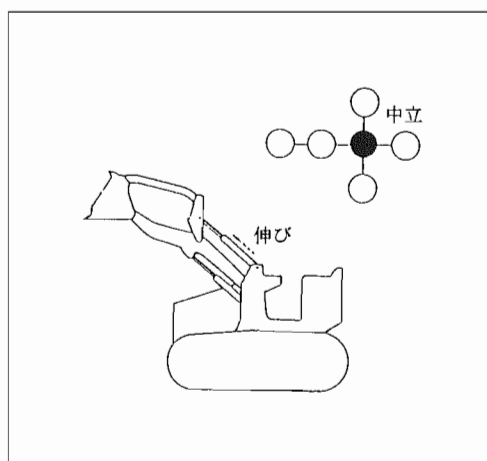
A. リフト・シリンダ



バケットを一杯に上げ、コントロール・レバーを「中立」にして、エンジンを停止する。

ロッドの伸び量が5分間で5mm以内、油温30～40℃

B. ダンプ・シリンダ



バケットを一杯に上げ、バケットのカッチング・エッジが地面と水平になるようにする。コントロール・レバーを「中立」にして、エンジンを停止する。

ロッドの伸び量が5分間で7mm以内、油温30～40℃

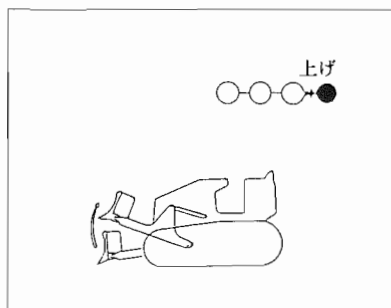
新キャタピラー三菱 (SCM)

図7. BD2J 作業機速度測定方法

エンジン回転速度をアイドル
(約 850rpm) にする。

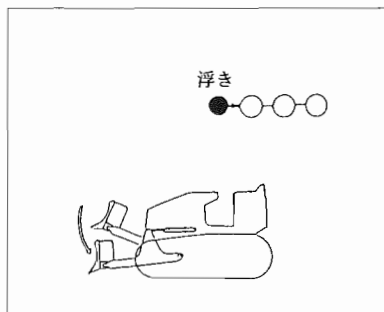
A. リフト・シリンダ (BD2J-PAT)

試験 1



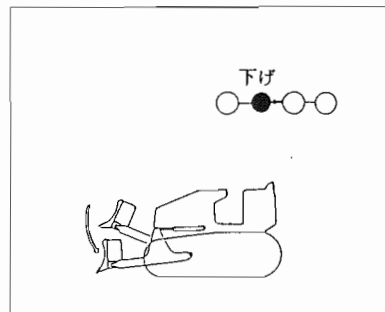
リフト回路速度試験-1	作動時間
ブレードを地面から一杯の高さまで上げるに要する時間 (垂直距離 約 900mm)	4.0 秒

試験 2



リフト回路速度試験-2	作動時間
ブレードを地面から一杯の高さまで上げておき、コントロール・レバーを(浮き)にしてブレードが地面まで降りるのに要する時間	0.8 秒

試験 3



リフト回路速度試験-3	作動時間
ブレードを地面から一杯の高さまで上げておき、コントロール・レバーを(下げ)にしてブレードが地面まで降りるのに要する時間	2.4 秒

図8. D3C, D4C, D5C及び D5M, D6M, D6R
作業機速度測定方法

リフト：リフトを下げ最大位置から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

リッパ：リッパを下げ最大位置から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

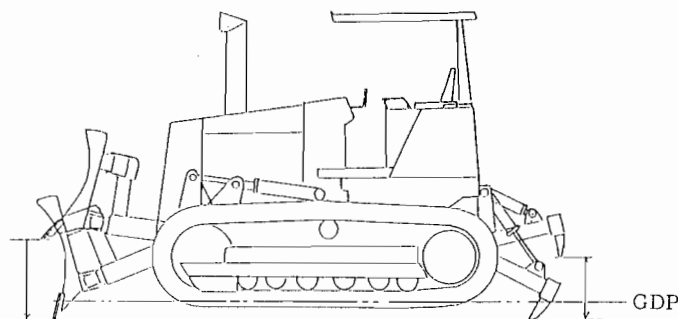
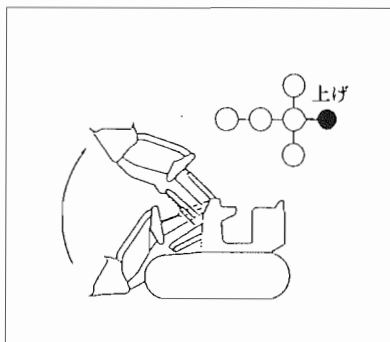


図9. BS3J 作業機速度測定方法

A. リフト・シリンダ

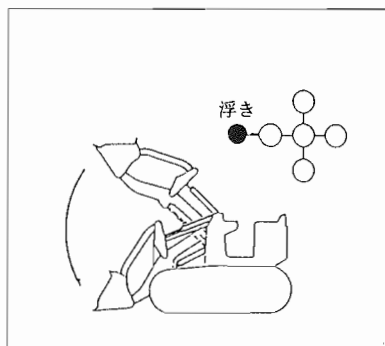
エンジン回転速度をアイドル
(約 850rpm) にする。

試験 1



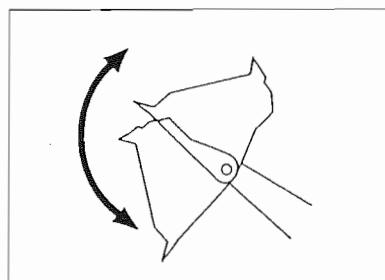
リフト回路速度試験-1	作動速度
空のバケットを地面から一杯の高さまで上げるに要する時間	15.7 秒

試験 2



リフト回路速度試験-2	作動速度
空のバケットを地面から一杯の高さまで上げておき、コントロール・レバーを(浮き)にしてバケットが地面まで降りるのに要する時間	3.9 秒

B. ダンプ・シリンダ



チルト回路速度試験-1	作動速度
空のバケットを一杯にチルトした位置から一杯にダンプするに要する時間 (リフト・シリンダは最大に伸ばしておく)	3.1 秒

チルト回路速度試験-2	作動速度
空のバケットを一杯にダンプした位置から一杯にチルトするに要する時間	3.3 秒

日立建機

適用範囲		モデル名		DX40	DX40-C	DX40M	DX40M-C	DX40MM
		仕 様		パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト
				適用号機		1078～	1898～	1001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ・ハイアイドルリング ・ローアイドルリング ・トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900
		エンジン油圧 (油 温) (回 転 速 度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)
		弁 す き 間 ・吸気弁 スキ間 ・排気弁 スキ間 〔測定条件〕	mm mm 〔 〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕
		圧縮圧力 (冷却水温) (回 転 速 度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)
	燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162	185 18142
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm 〔Kg N〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インチングペダル	ペダル取付け高さ ペダル遊びのストローク ペダル全ストローク	cm cm cm	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7
	走行クラッチ・ トランスミッ ション油圧	〔流体継ぎ手型〕 ミッション潤滑油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)					
		クラッチ油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)					
プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ ー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20
	ステアリングブースタ油圧又は ステアリングクラッチ油圧 (油 温)		kg/cm ² kPa (℃)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)

DX40MM-C	DX45	DX45-C	DX45M	DX45M-C	DX45MM	DX45MM-C	DX75	DX75M
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト
5422～	5005～	1042～	5010～	1042～	5006～	5022～	101～	101～
検 査 基 準 値								
2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2275±25 900±25	2275±25 900±25
3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3.5 (高速回転)	3.5 (高速回転)
0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.36 0.46	0.36 0.46
30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 200	30 2940 (250)	最小24.6	最小24.6
175 17162	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162		
8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	13 〔 6.8 〕	13 〔 6.8 〕
0.8～1.3 16.7	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13		
	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)		
	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196		
	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)		
3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3		
11 20	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20		
15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)		

日立建機

適用範囲		モデル名		DX40	DX40-C	DX40M	DX40M-C	DX40MM
		仕様		パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト
		適用号機		1078～	1898～	1001～	1898～	1002～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	〔ゴムベルト〕 ・張り(たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm			10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①
		〔鉄シュー〕 ・張り(たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②
		・リンクピッチの伸び (測定方法・条件) 図番号	mm	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③
		・履帯取付けボルト 締付けトルク (測定方法・条件)	kgm N・m	17±2 167±20	17±2 167±20	18～21 177～206	18～21 177～206	18～21 177～206
作業装置	シリンダ 自然伸縮	〔ブルドーザ〕 ・ブレードリフトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④
		・ブレードチルトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm					
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	作業機速度	〔ブルドーザ〕 ・ブレード上げ(下げ) (作業装置姿勢) 図番号	sec	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)

DX40MM-C	DX45	DX45-C	DX45M	DX45M-C	DX45MM	DX45MM-C	DX75	DX75M
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト
5422～	5005～	1042～	5010～	1042～	5006～	5022～	101～	101～
検 査 基 準 値								
10～15 ①			10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①		
20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	38～51 ②	38～51 ②
135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	159 ③	159 ③
18～21 177～206	17±2 167±20	17±2 167±20	18～21 177～206	18～21 177～206	18～21 177～206	18～21 177～206		
20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	7mm/分 ④	7mm/分 ④
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40±6)	(40±6)
1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	2.3 ⑤	2.3 ⑤
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(66±6)	(66±6)
160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	190±14 (66±6)	190±14 (66±6)

日立建機

適用範囲		モデル名	DX75L				
		仕様	パワーアングル パワーチルト				
		適用号機	101～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ・ハイアイドルリング ・ローアイドルリング ・トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2275±25 900±25			
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3.5 (高速回転)			
		弁すき間 ・吸気弁スキ間 ・排気弁スキ間 〔測定条件〕	mm mm 〔 〕	0.36 0.46			
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	最小24.6			
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa				
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕		13mm 〔6.8kg〕			
動 力 伝 達 装 置	クラッチ又は インチングペダル	ペダル取付け高さ ペダル遊びのストローク ペダル全ストローク	cm cm cm				
	走行クラッチ・ トランスミッ ション油圧	〔流体継ぎ手型〕 ミッション潤滑油 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)				
		クラッチ油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)				
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	kg/cm ² (rpm)				
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m				
ス テ ア リ ン グ 装 置	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm				
		ステアリングブースタ油圧又は ステアリングクラッチ油圧 (油温)	kg/cm ² kPa (℃)				

適用範囲		モデル名	DX75L				
		仕様	パワーアングル パワーチルト				
		適用号機	101～				
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値			
走行装置	クローラベルト	[ゴムベルト] ・張り（たわみ量） （測定方法・条件） 図番号	mm				
		[鉄シュー] ・張り（たわみ量） （測定方法・条件） 図番号	mm	38～51 ②			
		・リンクピッチの伸び （測定方法・条件） 図番号	mm	159 ③			
		・履帯取付けボルト 締付けトルク （測定方法・条件）	mm				
作業装置	シリンダ 自然伸縮	[ブルドーザ] ・ブレードリフトシリンダ （作業装置姿勢） 図番号	mm	7mm/分 ④			
		・ブレードチルトシリンダ （作業装置姿勢） 図番号	mm				
		（作動油温）	（℃）	（40±6）			
	作業機速度	[ブルドーザ] ・ブレード上げ（下げ） （作業装置姿勢） 図番号	sec	2.3 ⑤			
		（作動油温）	（℃）	（66±6）			
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 （作動油温）	kg/cm ² kPa （℃）	190±14 （66±6）			

日立建機

モデル名	DX40	DX40-C	DX40M	DX40M-C	DX40MM
------	------	--------	-------	---------	--------

①

■ ゴムクローラ（オプション）の張りの点検・調整

ゴムクローラは、作業条件や土質により、摩耗状態が異なりますので、随時摩耗状態および張り具合を点検してください。

とくに、新品装着時は、使用後初回 10 時間目で再調整し、以後 30 時間ごとに点検・調整してください。

● 点 検

⚠ 警 告

点検の際は二人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。

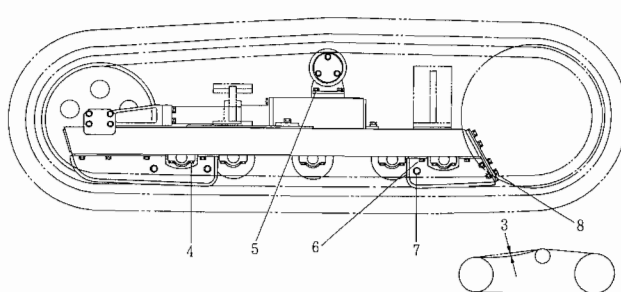
とくに測定中は絶対に動かさないでください。

履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

重 要

- ・ 摩耗などにより、継目部の確認ができないときは、調整後、1/4 回転させてもう一度点検してください。
- ・ ゴムクローラがゆるんだ状態で作業すると脱輪や芯金部の早期摩耗の原因になります。

② アンダキャリッジ

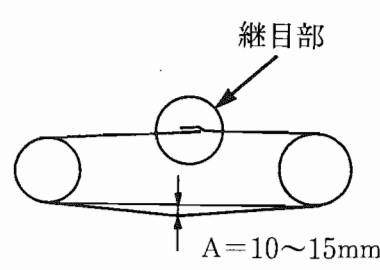


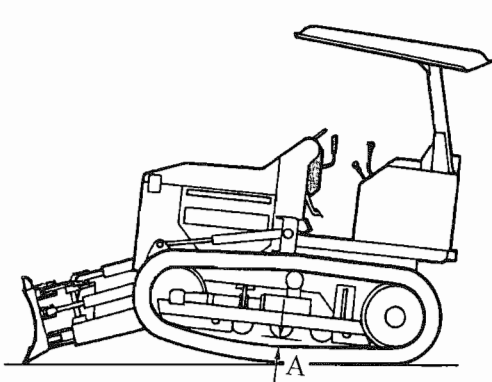
1. ゴムクローラ継目部（△印または∞印）を車軸間の上部中央にくるようにします。

継目位置をまちがうと適正張り具合よりたるみが多くなり、再調整が必要となります。

2. ブレードで車体を上げ、中央のトラックローラの外周端とクローラのローラ転動面とのスキマ（A）が 10～15mm あれば標準です。

25mm 以上になっていたら、張りの調整が必要です。





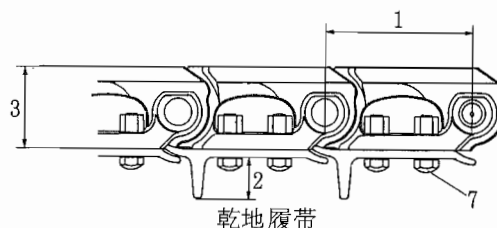
No.	項 目	基準値	使用 限度	備 考
3	トラックのゆるみ量	20～ 30mm	—	※車両を平地で 7m 以上の距離を低速前進走行させ、ブレーキをかけずに自然に停止した状態で測定する。

DX40MM-C	DX45	DC45-C	DX45M	DX45M-C	DX45MM	DX45MM-C	DX75系	
----------	------	--------	-------	---------	--------	----------	-------	--

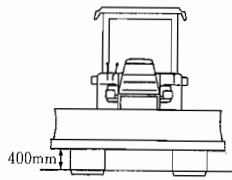
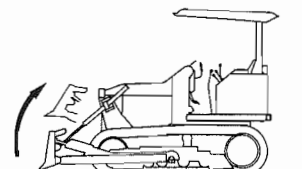
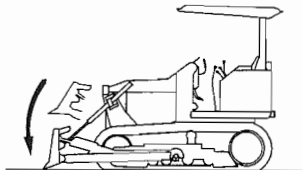
③

トラックリンク

No	項 目	基 準 値	使用限度	備 考
1	リンクピッチ	135mm	137.5mm	



ハイドロリック仕様 (PAT)

項 目	測 定 方 法	新車基準値
④ ブレード自然降下量	 - 油温 40～60℃ - ブレードを地上より400mm上げる。 - コントロールレバーを「中立」位置にし、エンジン停止する。 5分後のリフトシリンダのロッドの伸び量。	20mm／5分
⑤ ブレード上昇時間	 - 油温 40～60℃ - エンジン最高回転 (2300～2400rpm) - コントロールレバーを「上昇」位置にしてブレードを地上から最高位置まで上げるのに要する時間。	1.4 秒
ブレード下降時間	 - 油温 40～60℃ - エンジン最高回転 (2300～2400rpm) - コントロールレバーを「下降」位置にしてブレードを最高位置から地上まで下げるのに要する時間。	1.3 秒

古河機械金属

適用範囲		モデル名		FD40	FD40-1	FD40P	FD40P-1	FD40PL
		仕 様		パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト
				適用号機		1001～	1898～	1001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ・ハイアイドルリング ・ローアイドルリング ・トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	rpm rpm rpm (℃) (℃)	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900
		エンジン油圧 (油 温) (回 転 速 度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)
		弁 す き 間 ・吸気弁 スキ間 ・排気弁 スキ間 〔測定条件〕	mm mm 〔 〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕
		圧縮圧力 (冷却水温) (回 転 速 度)	kg/cm ² kPa (℃) (rpm)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)
	燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	kg/cm ² kPa	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162	185 18142
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm 〔Kg N〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕
動力伝達装置	クラッチ又は インチングペダル	ペダル取付け高さ ペダル遊びのストローク ペダル全ストローク	cm cm cm	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7
	走行クラッチ・ トランスミッ ション油圧	〔流体継ぎ手型〕 ミッション潤滑油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)					
		クラッチ油圧 (ハイアイドル)	kg/cm ² (kPa)					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (rpm)					
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	kgm N・m	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3
ステアリング装置	レバ ー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20
	ステアリングブースタ油圧又は ステアリングクラッチ油圧 (油 温)		kg/cm ² kPa (℃)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)

FD40PL-1	FD45	FD45-1	FD45P	FD45P-1	FD45PL	FD45PL-1		
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト		
5422～	5001～	1042～	5001～	1042～	5001～	5022～		
検 査 基 準 値								
2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920		
3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)	3～4.5 294～441 (70～90) (1400)		
0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕		
30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 (200)	30 2940 (250)	31 3040 200	30 2940 (250)		
175 17162	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162	185 18142	175 17162		
8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕		
0.8～1.3 16.7	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13		
	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)	0.8～1.9 (78～186)		
	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196	15±2 1471±196		
	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)		
3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3	3～3.7 29.4～36.3		
11 20	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20		
15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)	15±1 1471±98 (40～60)		

古河機械金属

適用範囲		モデル名	FD40	FD40-1	FD40P	FD40P-1	FD40PL	
		仕様	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト	
		適用号機	1001～	1898～	1001～	1898～	1001～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	〔ゴムベルト〕 ・張り (たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm			10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①
		〔鉄シュー〕 ・張り (たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②
		・リンクピッチの伸び (測定方法・条件) 図番号	mm	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③
		・履帯取り付けボルト 締付けトルク (測定方法・条件)	kgm N・m	17±2 167±20	17±2 167±20	18～21 177～206	18～21 177～206	18～21 177～206
作業装置	シリンダ 自然伸縮	〔ブルドーザ〕 ・ブレードリフトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④
		・ブレードチルトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm					
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	作業機速度	〔ブルドーザ〕 ・ブレード上げ (下げ) (作業装置姿勢) 図番号	sec	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	kg/cm ² kPa (℃)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)

FD40PL-1	FD45	FD45-1	FD45P	FD45P-1	FD45PL	FD45PL-1		
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト		
5422～	5001～	1042～	5001～	1042～	5001～	5022～		
検 査 基 準 値								
10～15 ①			10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①		
20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②		
135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③		
18～21 177～206	17±2 167±20	17±2 167±20	18～21 177～206	18～21 177～206	18～21 177～206	18～21 177～206		
20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④		
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)		
1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤		
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)		
160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)	160～170 16181±490 (40～60)		

モデル名	FD40	FD40-1	FD40P	FD40P-1	FD40PL
------	------	--------	-------	---------	--------

①

■ ゴムクローラ（オプション）の張りの点検・調整

ゴムクローラは、作業条件や土質により、摩耗状態が異なりますので、随時摩耗状態および張り具合を点検してください。

とくに、新品装着時は、使用後初回 10 時間目で再調整し、以後 30 時間ごとに点検・調整してください。

● 点 検

⚠ 警 告

点検の際は二人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。

とくに測定中は絶対に動かさないでください。

履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

重 要

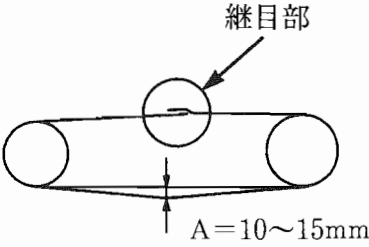
- ・ 摩耗などにより、継目部の確認ができないときは、調整後、1/4 回転させてもう一度点検してください。
- ・ ゴムクローラがゆるんだ状態で作業すると脱輪や芯金部の早期摩耗の原因になります。

1. ゴムクローラ継目部（△印または∞印）を車軸間の上部中央にくるようにします。

継目位置をまちがうと適正張り具合よりたるみが多くなり、再調整が必要となります。

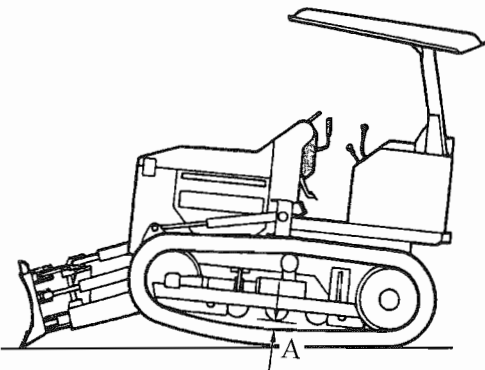
2. ブレードで車体を上げ、中央のトラックローラの外周端とクローラのローラ転動面とのスキマ（A）が 10～15mm あれば標準です。

25mm 以上になっていたら、張りの調整が必要です。

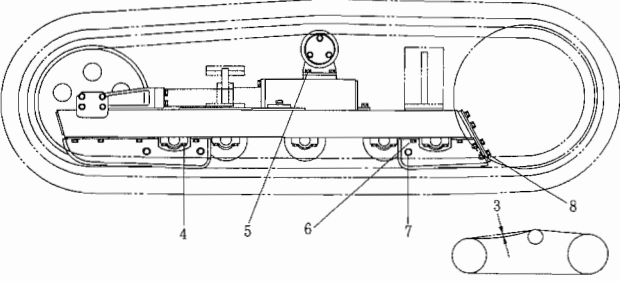


継目部

A = 10～15mm



② アンダキャリッジ



No	項 目	基準値	使用 限度	備 考
3	トラックのゆるみ量	20～ 30mm	—	※車両を平地で 7m 以上の距離を低速前進走行させ、ブレーキをかけずに自然に停止した状態で測定する。

FD40PL-1	FD45	FD45-1	FD45P	FD45P-1	FD45PL	FD45PL-1		
----------	------	--------	-------	---------	--------	----------	--	--

③

トラックリンク

No.	項 目	基 準 値	使用限度	備 考
1	リンクピッチ	135mm	137.5mm	

乾地履帯

ハイドロリック仕様 (PAT)

項 目	測 定 方 法	新車基準値
④ ブレード自然降下量	- 油温 40～60℃ - ブレードを地上より400mm上げる。 - コントロールレバーを「中立」位置にし、エンジン停止する。 5分後のリフトシリンダのロッドの伸び量。	20mm／5分
⑤ ブレード上昇時間	- 油温 40～60℃ - エンジン最高回転 (2300～2400rpm) - コントロールレバーを「上昇」位置にしてブレードを地上から最高位置まで上げるのに要する時間。	1.4 秒
ブレード下降時間	- 油温 40～60℃ - エンジン最高回転 (2300～2400rpm) - コントロールレバーを「下降」位置にしてブレードを最高位置から地上まで下げるのに要する時間。	1.3 秒

ブル・ドーザ検査・整備基準値表

平成10年9月 第1刷発行

発行 社団法人 建設荷役車両安全技術協会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号
(ニュー九段ビル9階)

電話 03-3221-3661
FAX 03-3221-3665

禁無断転載

印刷 (株)東京技術協会 (20)